

名古屋国道事務所
ここ10年のあゆみ
～事務所設立70周年記念誌～



令和5年6月

国土交通省中部地方整備局
名古屋国道事務所

「名古屋国道事務所 ここ10年のあゆみ ～事務所設立70周年記念誌～」の発刊にあたって

名古屋国道事務所は、昭和27年(1952年)5月1日に名古屋工事事務所として発足して以来、令和4年(2022年)に70周年という節目を迎えることができました。発足当初は、146.4kmだった管理延長も436.7kmまで伸び、我が国のモノづくり産業の中核を担う愛知県における幹線道路ネットワークの枢要を占めてきました。

名古屋国道事務所が70年間、道路インフラの整備を通じて地域の生活や経済の発展に寄与してきてくれたのも、管内各地域の皆様のご支援とご協力と歴代事務所長をはじめとする名古屋国道事務所に関わった先輩職員のご尽力の賜物であり、心からお礼を申し上げます。

この度、70周年にあたって、「名古屋国道事務所 ここ10年のあゆみ ～事務所設立70周年記念誌～」を発刊することとなりました。名古屋国道事務所のここ10年の歩みを、データを中心に記録として取りまとめさせていただきました。取りまとめにご尽力いただいた、事務所職員一同に感謝申し上げます。ぜひご覧いただき、振り返りいただければと思います。

ここ10年は、インフラ整備をめぐる全国の状況にも大きな変化がありました。2011年には東日本大震災が発生し、南海トラフ地震の発生リスクの高まりもあり、防災・耐震対策の必要性が高まりました。2014年には、橋梁、トンネル等のインフラ施設について5年に1回の点検が義務化され、インフラメンテナンスへの取り組みが地方公共団体も含めて本格化しました。道の駅についても、2013年からの「道の駅自体が目的地」となる第2ステージを経て、2020年からの5か年間は「地方創生・観光を加速する拠点」へ向けて目指す第3ステージを迎えています。そのほかにも、自転車の利用環境の創出や無電柱化、「歩行者利便増進道路(ほこみち)」制度の創設をはじめとした歩行空間充実が推進されてきました。建設現場などでは、i-constructionやDXの取組がすすみ、効率化が一層進みました。また、2020年からは世界規模での新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大もあり、我々の働き方を改めて見直す契機となりました。

このような社会環境の変化のなか、名古屋国道事務所でも、事務所発足以来つづけてきたこれまでの取り組みに加え、地域から求められる新たなニーズが加わってきました。地域の経済を発展させ、生活を守るために、円滑で安全な交通を確保するための道路管理を確実にやっていくのはもちろんのこと、ここ10年は、地域の魅力を引き出し、人々の生活を豊かにする取り組みがこれまで以上に求められており、そのような地域の期待に応えられるよう取り組んできた10年であると感じます。今後とも、事務所一丸となって、より一層地域をよりよいものにできるよう取り組んでまいりたいと思いますので、引き続き名古屋国道事務所の取組にご理解とご協力いただければ幸甚に存じます。



2023年5月

名古屋国道事務所長 望月拓郎

名古屋国道事務所 ここ10年のあゆみ ～事務所設立70周年記念誌～

目 次

「名古屋国道事務所ここ10年のあゆみ～事務所設立70周年記念誌～」の発刊にあたって

目次

1. 名古屋国道事務所のここ10年のあゆみ	1
2. 事業費の推移	
(1) 事業費全体の推移	5
(2) 改築事業費の推移	5
(3) 電線共同溝事業費の推移	6
(4) 交通安全対策事業費の推移	6
3. ネットワークと管理区間の変遷	7
4. ここ10年の主な事業	
(1) 国道 153 号 伊勢神改良	13
(2) 国道 1 号 愛知 1 号震災橋架替(熱田天馬橋架替)	14
(3) 自転車通行空間整備	15
(4) 国道 19 号 桜通歩道空間再整備(桜通プロジェクト)	16
(5) 国道 1 号 岡崎地区歩道整備	17
(6) 国道 19 号日銀前交差点舗装修繕	18
(7) 国道 23 号 道の駅「とよはし」	19
5. 事務所・出張所組織の推移	21
6. 事業関連データ	
(1) 橋梁補強工事一覧	25
(2) 防災工事一覧	26
(3) 交通安全対策(Ⅰ種)事業一覧	27
(4) 交通事故の状況	29
(5) 電線共同溝・共同溝事業一覧	30
(6) 保有機械一覧	31
(7) 占用許可件数	32
(8) 特殊車両通行許可件数	32
(9) ボランティアサポートプログラム登録団体数	32
(10) 通行規制の実績	33
(11) 国道23号 沿道大気状況	34
(12) 用地取得状況	35
7. 歴代所長のご紹介	37
(1) 歴代所長のご紹介	
(2) ここ10年の所長のことば	38
編集後記	41

1. 名古屋国道事務所のここ10年

事務所 の あゆみ



豊田地区環境対策



23号ルール



国道23号遮音壁



桜通自転車レーン運用開始

- ・東三河出張所開所
- ・愛知県初のトンネルLED照明を設置
- ・国道153号豊田地区環境対策完成
- ・国道23号(南区天白～要町)遮音壁設置

- ・品質確保課を設置
- ・「国道23号ルール(名古屋南部地域)」に着手
- ・国道22号枇杷島電線共同溝完成
- ・国道19号桜通自転車レーン運用開始

国土交通省の 情勢

- ・6/23R23 豊田東バイパス(豊橋東IC～細谷IC)開通
- ・3/23 交通系ICカード全国相互利用サービス開始
- ・9/4 第1回ラウンドアバウト検討委員会の開催

- ・3/16R153 豊田南バイパス(豊田市美山町～東新町)開通
- ・3/23 蒲郡バイパス(蒲郡IC～幸田芦谷IC)開通
- ・6/25 道路「定期点検要領」策定
- ・10/1 東海道新幹線開通50周年

第3次社会資本整備重点計画(2012年度～2016年度)

社会の出来事

平成25年(2013年)

- ・5/5 長嶋茂雄・松井秀喜が国民栄誉賞受賞
- ・5/10 出雲大社で60年ぶりの遷宮(平成の大遷宮)
- ・6/22 富士山が世界文化遺産に登録
- ・8/30 気象庁「特別警報」の運用を開始

平成26年(2014年)

- ・2/7 ソチオリンピック開催
- ・2/20 クリミア危機
- ・4/1 消費税が5%から8%に
- ・9/27 御嶽山噴火



熱田伝馬橋架替



伊勢神改良迂回路



南堀越歩道整備



西部環境対策



ウィメンズマラソン 前清掃

- ・国道1号熱田伝馬橋架替工事着手
- ・国道1号西部環境対策完成
- ・名古屋国道維持第一出張所千種区松軒へ移転
- ・国道1号 4車線化(名古屋市中川区内)
- ・桜通開通80周年記念植樹、歩道空間整備開始
- ・ボランティアによる名古屋ウィメンズマラソン 前清掃を開始
- ・国道153号伊勢神改良迂回路供用
- ・国道153号陣中町交差点改良完成(歩道整備・4車線化)
- ・国道22号南堀越歩道整備完成
- ・国道153号豊田陣中電線共同溝、国道1号一色I 電線共同溝完成
- ・国道41号尾張地区交差点改良完成
- ・道の駅「どんぐりの里稲武」20周年記念フェスタ

- ・3/14北陸新幹線(長野～金沢)開業
- ・7/1名神高速道路全線開通50周年
- ・9/18関東・東北豪雨
- ・2/13新東名(浜松いなさJCT～豊田東JCT)開通
- ・4/14熊本地震
- ・4/4バスタ新宿利用開始
- ・8/11東海環状自動車道(東員IC～新四日市JCT)開通
- ・7/5九州北部豪雨
- ・10/11「道路デザイン 指針(案)」の改定
- ・10/22東海環状自動車道(養老JCT～養老IC)開通

第3次社会資本整備重点計画(2012年度～2016年度)

第4次社会資本整備重点計画(2015年度～2020年度)

平成27年(2015年)

- ・5/29 口永良部島噴火
- ・9/19ラグビーワールドカップ2015日本、南アフリカに歴史的勝利
- ・10/1 スポーツ庁、防衛装備庁設置

平成28年(2016年)

- ・5/26・27伊勢志摩サミット
- ・8/5リオデジャネイロオリンピック開催
- ・10/1 藤井聡太四段昇段(プロ入り)
- ・12/31 SMAP解散

平成29年(2017年)

- ・1/25 稀勢の里が横砂に昇進
- ・3/3 任天堂が「Nintendo Switch」発売
- ・3/28 政府が「働き方改革実行計画」を策定
- ・9/9 桐生祥秀日本人選手初の100m走9秒台達成

事務所のあゆみ



道の駅「とよはし」開駅



堀越歩道整備



瓦町電共

- ・「大須地区安全自転車利用に関する連絡会」設立
- ・国道22号堀越歩道整備完成

- ・道の駅「とよはし」開駅
- ・「国道23号十一屋宝神勉強会」設立
- ・国道1号瓦町電線共同溝完成

国土交通省の情勢

- ・4/6「無電柱化推進計画」の策定
- ・6/8「自転車活用推進計画」閣議決定
- ・9/4台風21号関西国際空港高潮で浸水

- ・1/29「ダブル連結トラック」の本格導入
- ・3/17東海環状自動車道(大安IC～東員IC)開通
- ・9/9ナショナルサイクルルート制度の創設
- ・12/14東海環状自動車道(大野神戸IC～大垣西IC)開通

第4次社会資本整備重点計画

社会の出来事

平成30年(2018年)

- ・1/23草津白根山噴火
- ・2/9平昌オリンピック開催
- ・6/8名古屋城本丸御殿の復元工事が完了し全体公開
- ・7/2羽生結弦が23歳で国民栄誉賞受賞
- ・9/16安室奈美恵が引退

平成31年/令和元年(2019年)

- ・3/20イチロー引退
- ・5/1 令和元年
- ・10/1 消費税が8%から10%に
- ・10/31 首里城で火災発生



新郡界橋



岡崎康生電共



桜通歩行空間整備



守山電共



日銀前交差点コンクリート舗装



大須地区自転車通行空間

- ・道の駅「とよはし」防災道の駅に選定
- ・国道153号伊勢神改良新郡界橋完成
- ・国道19号守山電線共同溝完成
- ・日銀前交差点路面補修工事(コンクリート舗装)完成
- ・国道1号岡崎地区歩道整備都市計画事業承認告示
- ・国道1号岡崎康生電線共同溝完成
- ・全国「道の駅」シンポジウムin幸田
- ・国道153号伊勢神改良新伊勢神トンネル(仮称)掘削工事開始
- ・国道19号桜通大津交差点周辺歩行者空間整備完了
- ・国道19号大須地区等自転車通行空間完成(金山新橋南～若宮南)

- ・3/20東海環状自動車道(関広見IC～山県IC)開通
- ・4/1道路メンテナンス補助制度等の個別補助制度の創設
- ・7/3～7/31令和2年7月豪雨
- ・12/22新東名(御殿場JCT～浜松いなさJCT)最高速度120km/hに引き上げ

- ・5/1名二環(名護屋西JCT～飛島JCT)開通
- ・5/25新たな「無電柱化計画」を策定
- ・6/11はじめて「防災道の駅」を選定
- ・7/3熱海市土石流災害

- ・4/23北海道知床遊覧船事故
- ・8/31「今、道路の景色を変えていく～2040年道路政策ビジョンへのロードマップ」
- ・9/23西九州新幹線開業

(2015年度～2020年度)

第5次社会資本整備重点計画(2021年度～2025年度)

令和2年(2020年)

- ・1/15新型コロナウイルス感染症(COVID-19)国内初の感染者確認
- ・3/25第5世代移動通信システム(5G)がサービス開始
- ・9/16菅義偉が第99代内閣総理大臣に就任
- ・12/6小惑星探査機「はやぶさ2」の回収カプセルが地球へ帰還

令和3年(2021年)

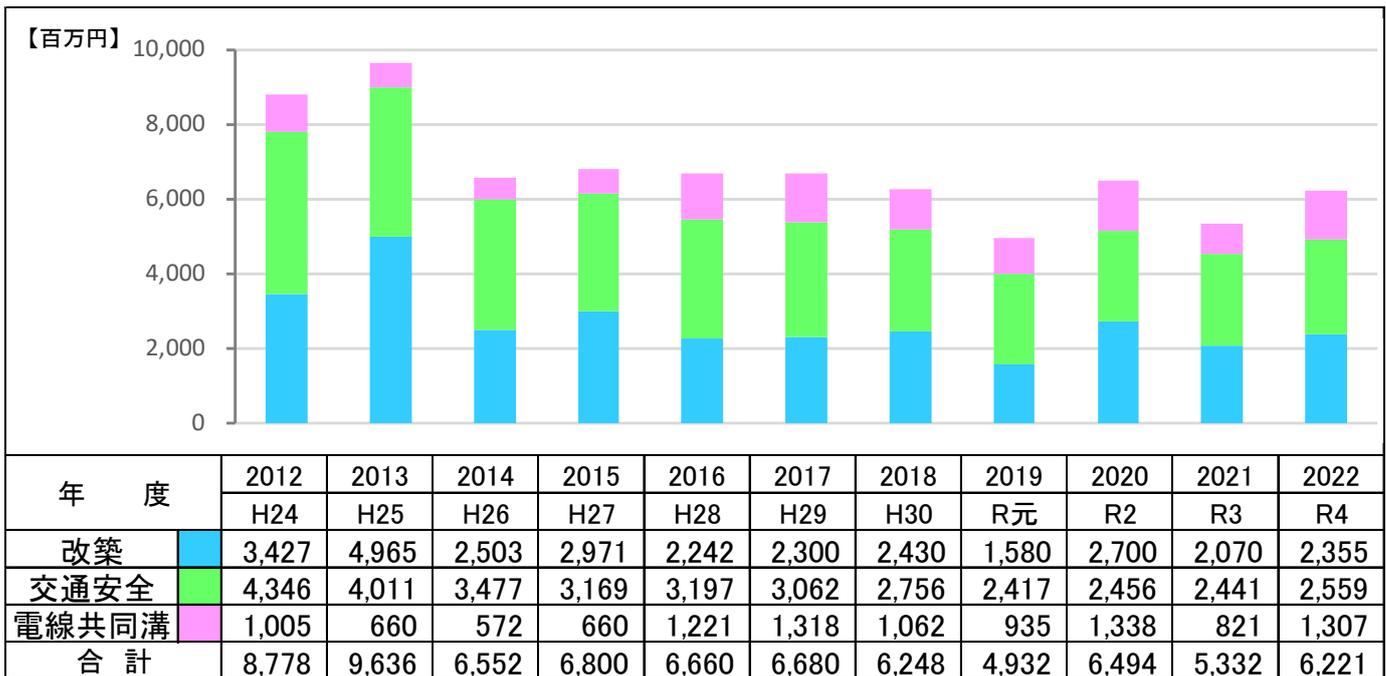
- ・7/23東京オリンピック開催
- ・9/1デジタル庁設置
- ・10/4岸田文雄が第100第内閣総理大臣に就任

令和4(2022年)

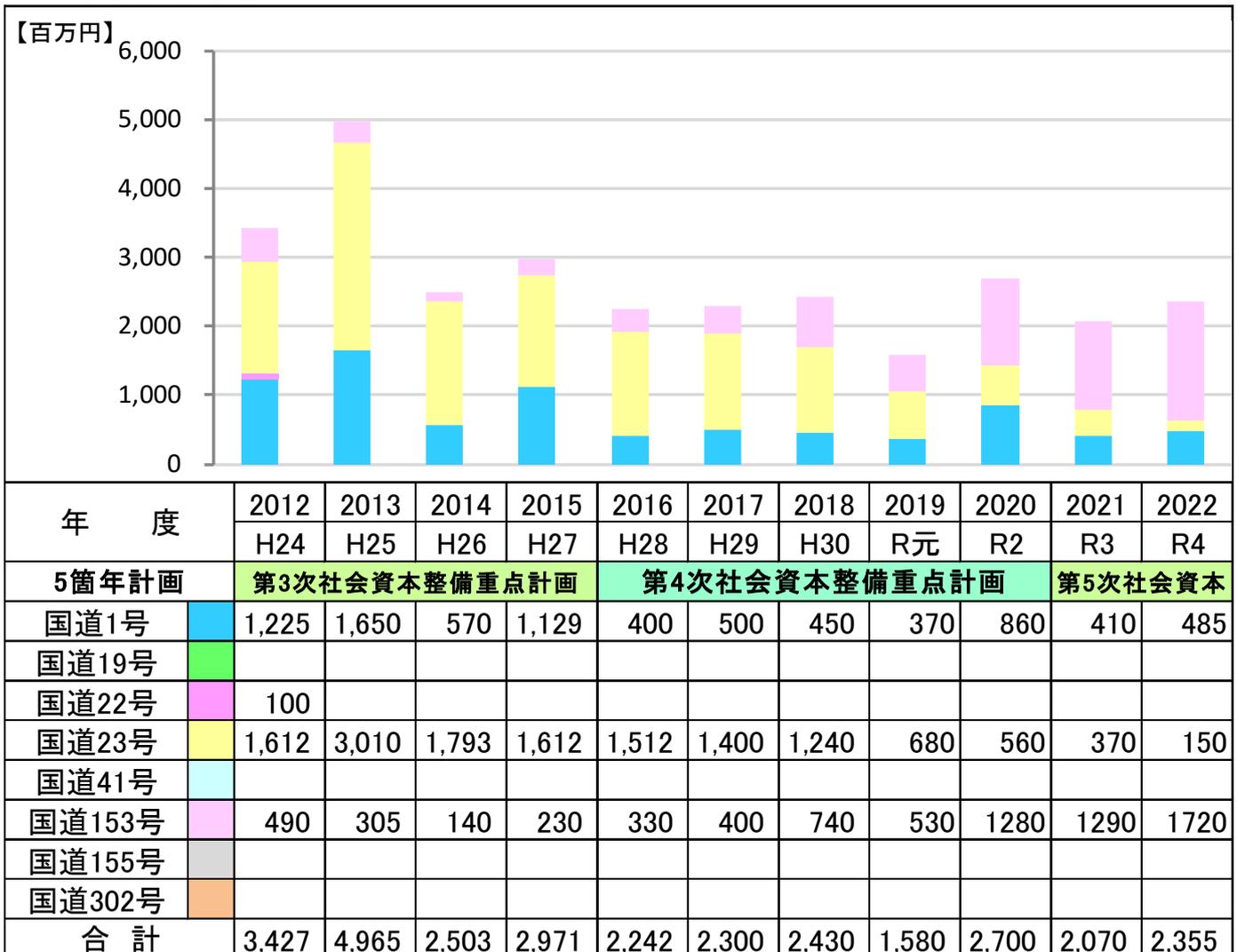
- ・2/4北京オリンピック開催
- ・2/24ロシアがウクライナに侵攻
- ・7/8安倍晋三元首相奈良で銃撃
- ・11/1ジブリパーク開園

2. 事業費の推移

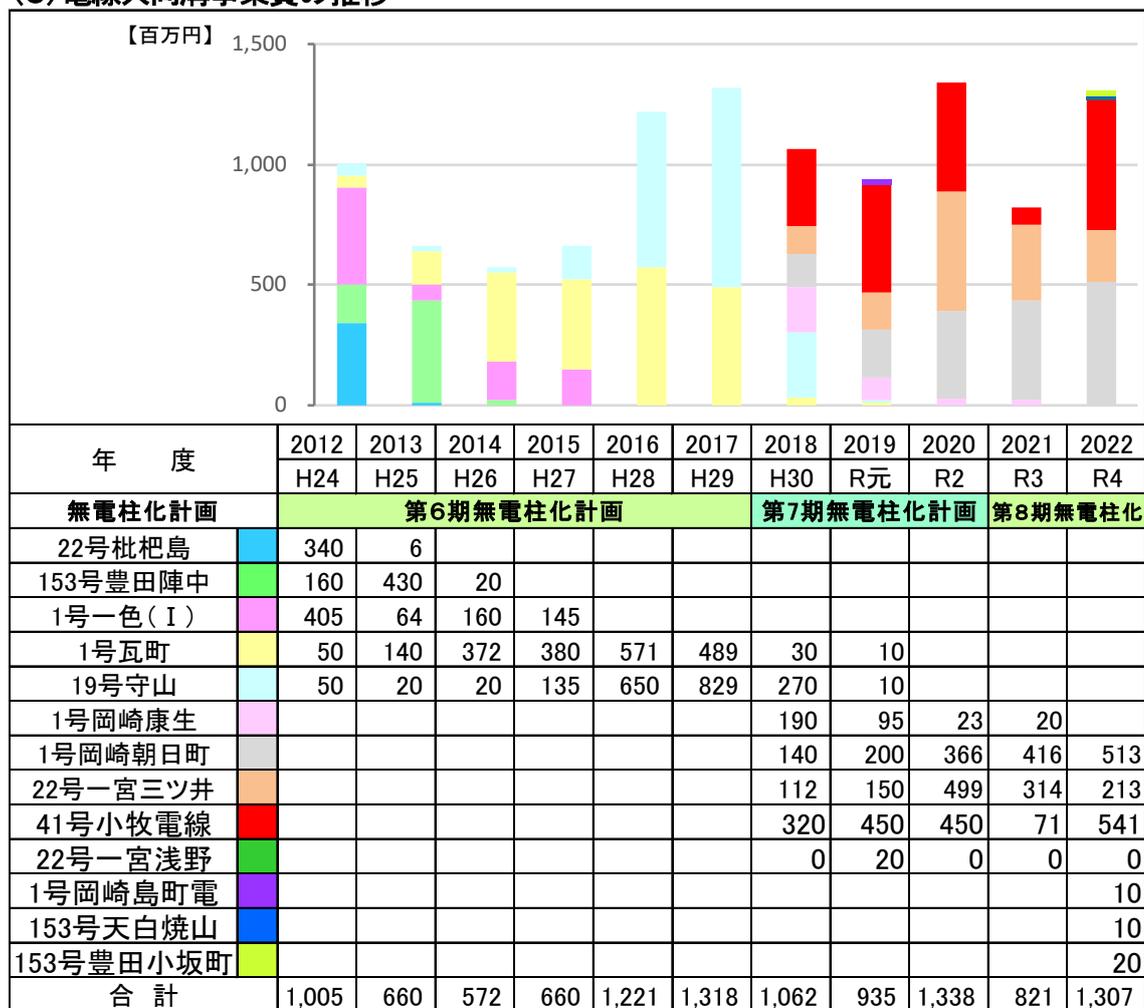
(1) 事業費全体の推移



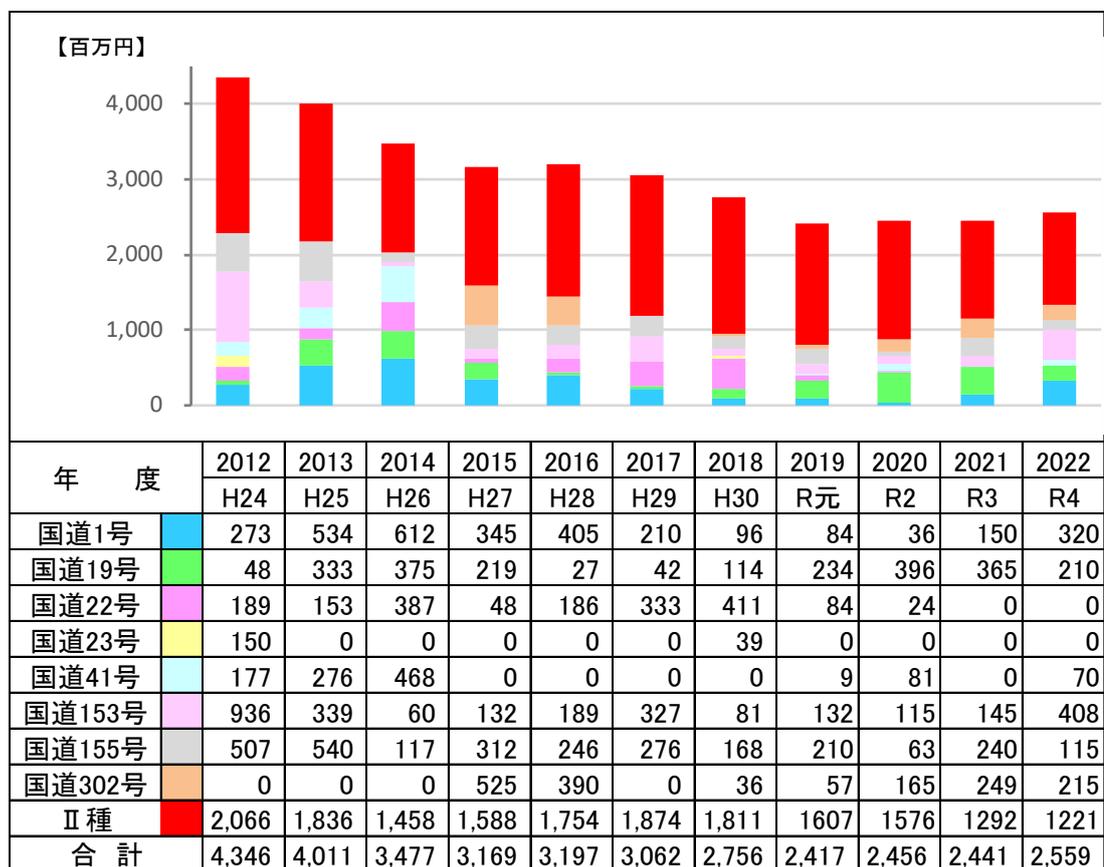
(2) 改築事業費の推移



(3) 電線共同溝事業費の推移

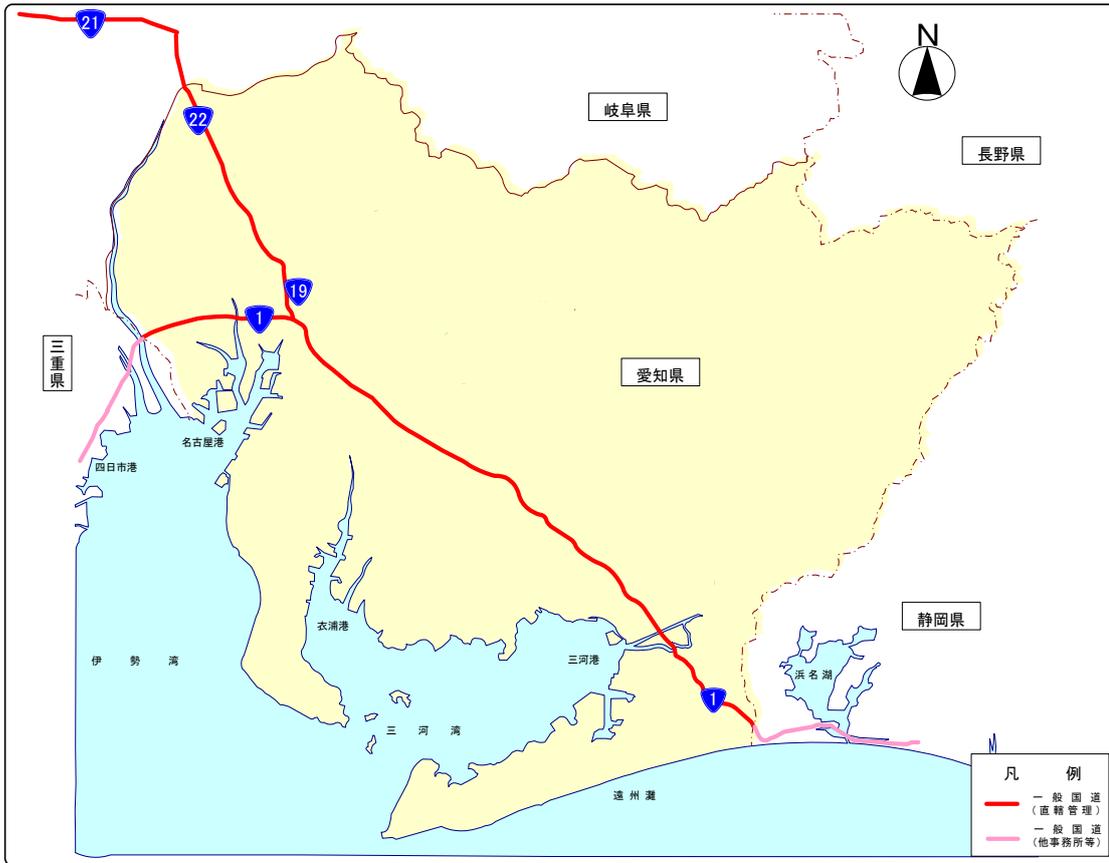


(4) 交通安全対策事業費の推移



3. ネットワークと管理区間の変遷

① 昭和27年（1952年）名古屋工事事務所発足時

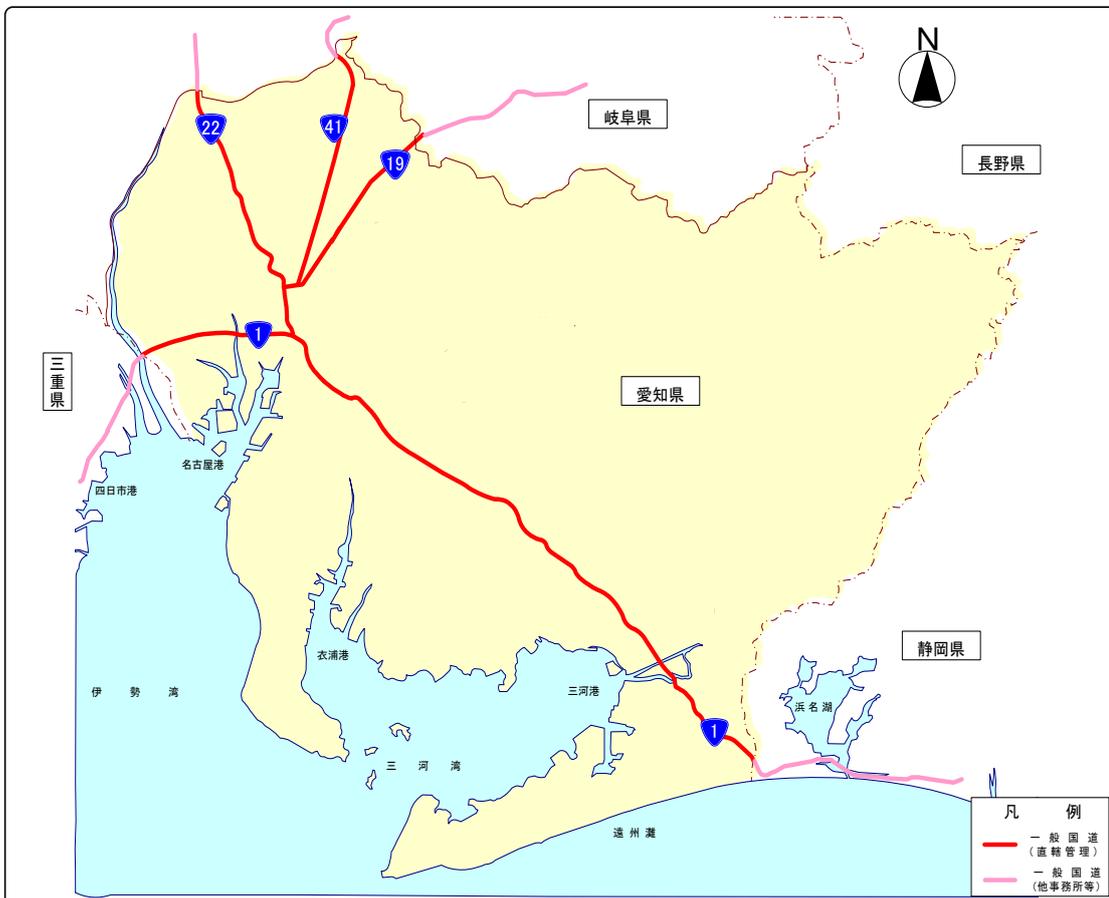


管理延長（単位:km）

路線	延長
1号	94.6
19号	5.8
21号	20.4
22号	25.6
合計	146.4

- ・ 国道21号（岐阜市～大垣市間）は、昭和34年4月に岐阜国道事務所に移管
- ・ 国道19号と国道22号の分岐点は中区伏見町（日銀前交差点）

② 昭和37年（1962年）



管理延長（単位:km）

路線	延長
1号	93.7
19号	30.9
22号	25.6
41号	26.4
合計	176.6

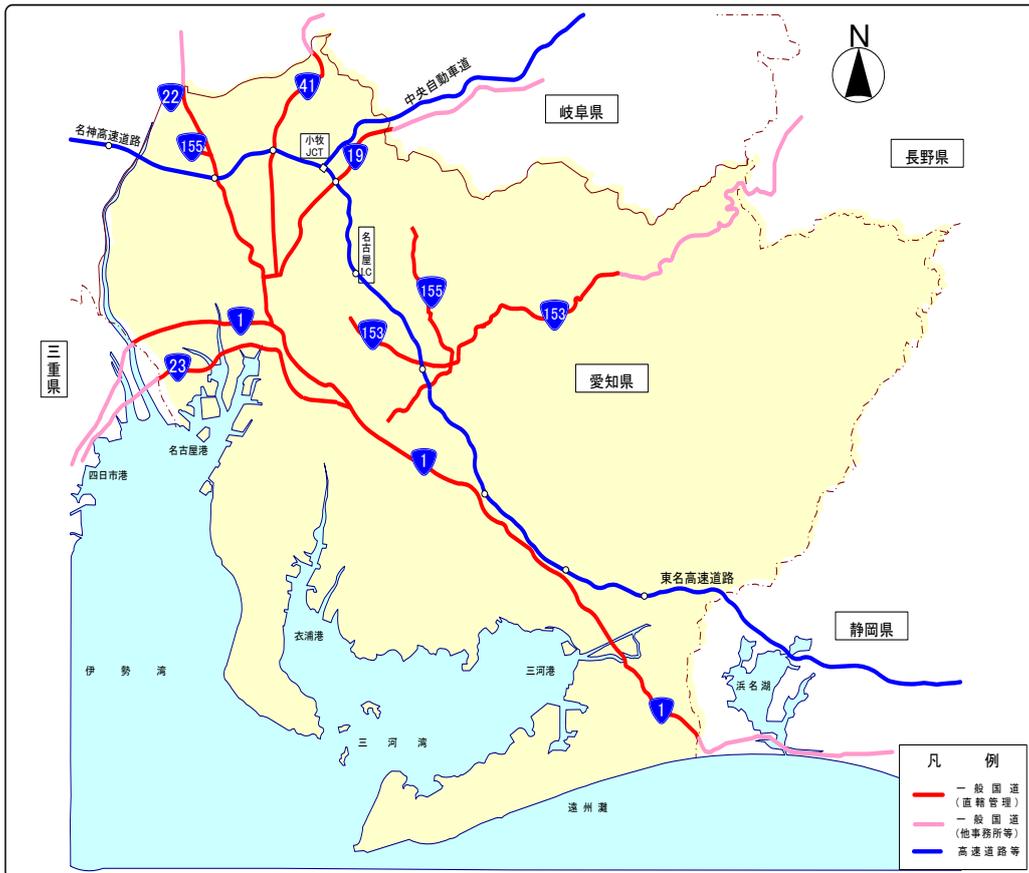
- ・ 国道19号(中区伏見町～春日井市内津間)が指定区間に編入
- ・ 国道41号(東区高岳～犬山市間)が指定区間に編入

③ 昭和47年（1972年）

管理延長（単位:km）

路線	延長
1号	93.5
19号	37.0
22号	26.0
(23号)	28.8
41号	25.5
153号	44.6
155号	32.1
合計	287.5

- ・ 国道23号は国道1号のバイパス扱い
- ・ 国道19号春日井バイパス(春日井市若草通～瑞穂通間)一部供用開始
- ・ 国道153号(天白区天白町～足助町新盛間)が指定区間に編入
- ・ 国道155号(豊田市駒場町～瀬戸市東茨町間)(一宮市浅野町～同市上本町間)が指定区間に編入

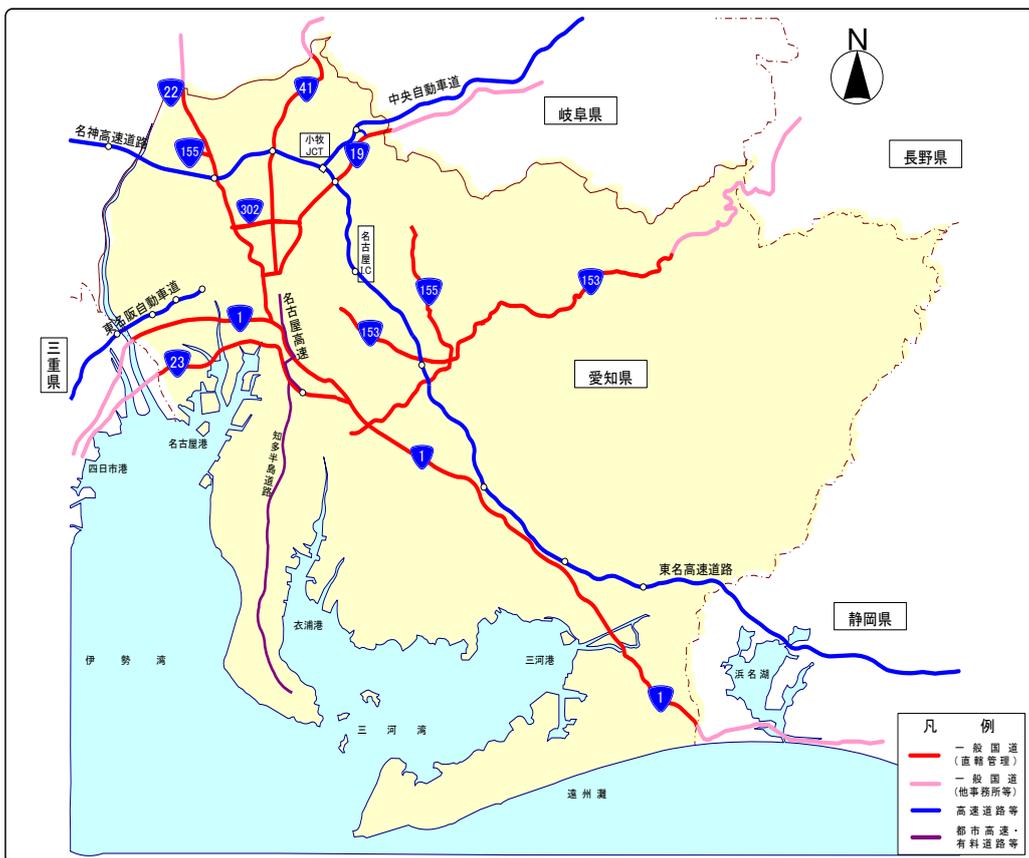


④ 昭和57年（1982年）

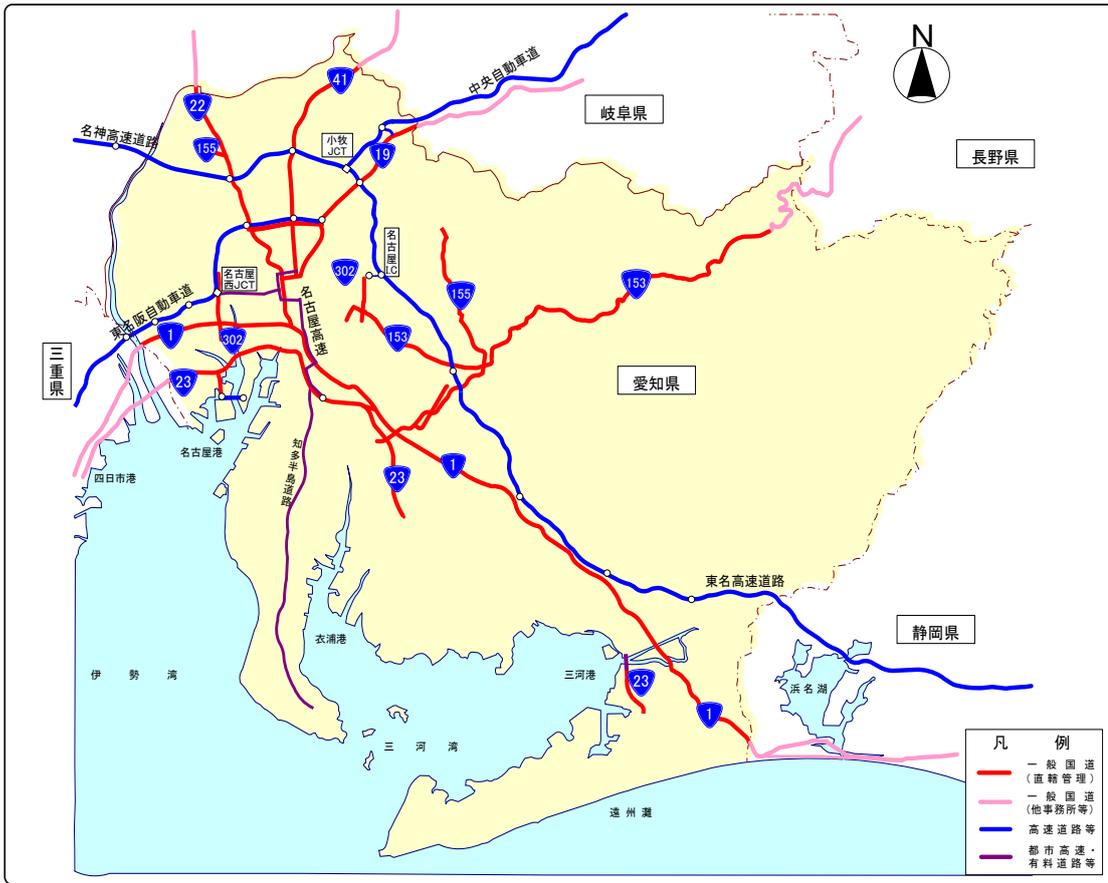
管理延長（単位:km）

路線	延長
1号	93.5
19号	41.8
22号	26.0
23号	29.2
41号	27.8
153号	45.9
155号	34.7
302号	9.3
合計	308.2

- ・ 国道19号春日井バイパス(春日井市大泉寺～同市坂下町間)供用開始
- ・ 国道23号が昭和50年に指定路線となる
- ・ 国道302号北部区間(西春日井郡春日村～春日井市惣中町間)が指定路線として供用開始



⑤ 平成4年(1992年)

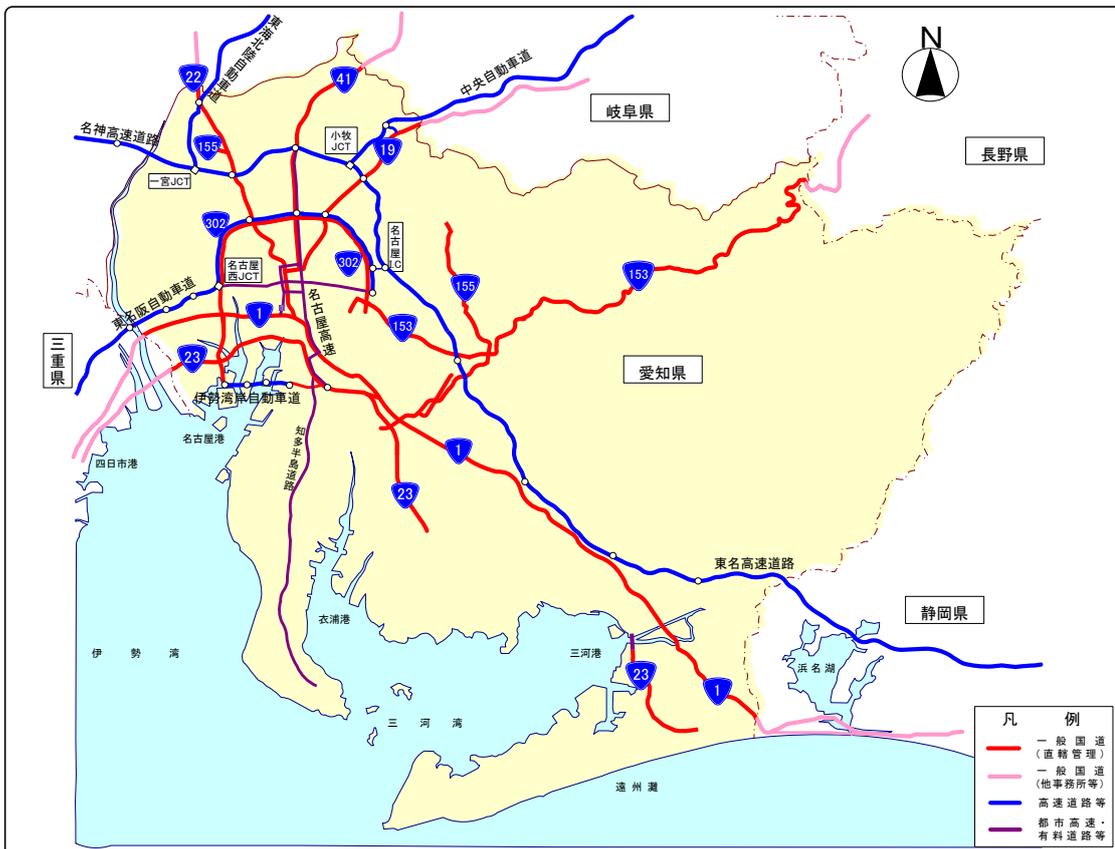


管理延長(単位:km)

	延長
1号	93.5
19号	31.7
22号	26.0
23号	52.6
41号	27.8
153号	69.8
155号	43.4
302号	31.9
合計	376.7

- ・ 国道23号知立バイパス(知立市西中町~同市山町間)、岡崎バイパス(安城市和泉町~刈谷市野田町間)、豊橋バイパス(豊橋市神野新田町~同市前芝町間)が供用開始
- ・ 国道153号(名古屋市天白区内で指定路線に編入)

⑥ 平成14年(2002年)



管理延長(単位:km)

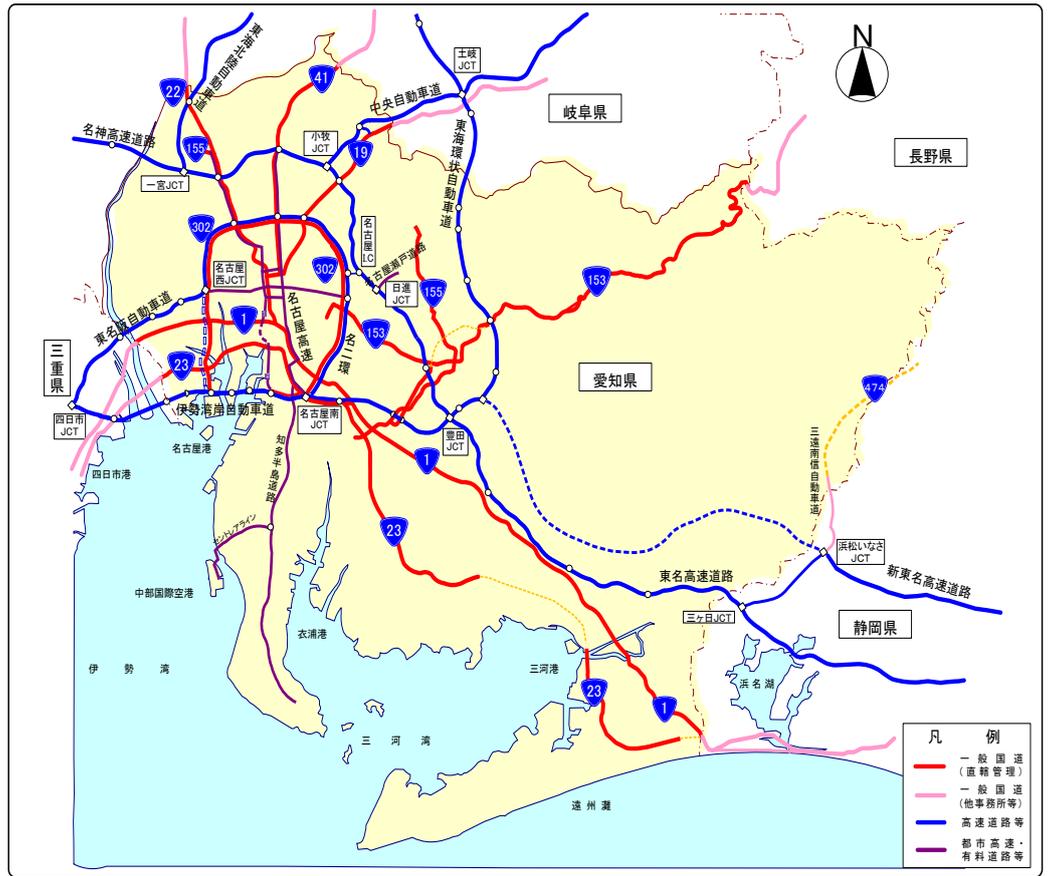
路線	延長
1号	93.8
19号	31.7
22号	26.0
23号	57.1
41号	27.8
153号	75.0
155号	43.5
302号	48.3
合計	403.2

- ・ 国道23号豊橋バイパス(豊橋市大山町~同市大崎町間)供用開始
- ・ 国道153号(足助町新盛~大野瀬間)指定区間に編入
- ・ 国道302号北西部(清須市~名古屋市)中川区間供用開始

⑦ 平成24年(2012年)

管理延長(単位:km)

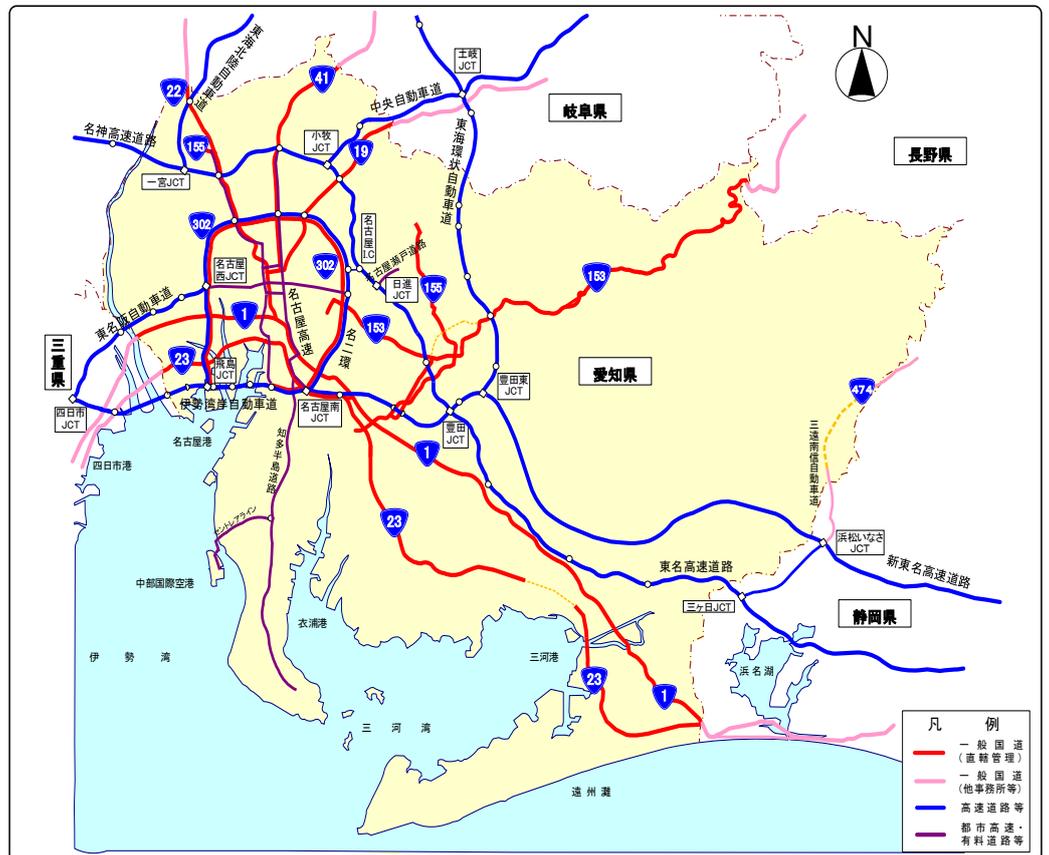
路線	延長
1号	93.9
19号	31.7
22号	26.0
23号	79.6
41号	27.8
153号	77.6
155号	45.0
302号	58.9
合計	440.5



⑧ 令和4年(2022年)5月1日現在の管理区間と高速道路等の道路網

管理延長(単位:km)

路線	延長
1号	93.9
19号	31.7
22号	26.0
23号	92.1
41号	27.8
153号	74.3
155号	31.9
302号	58.9
合計	436.7



	路線	管 理 区 間 (延長:km)	合 計
維持第一出張所	1号	刈谷市今川町矢戸(新境橋含む)～名古屋市熱田区神宮二丁目(国道19号247号交点・熱田神宮南交差点含む)	14.4
	19号	名古屋市熱田区神宮二丁目(国道19号247号交点・熱田神宮南交差点含まず)～名古屋市守山区大字瀬古字中島(勝川橋含まず)	13.1
	22号	名古屋市中区丸の内一丁目～清須市西枇杷島町小田井一丁目(新名西橋含む)	5.6
	41号	名古屋市東区泉二丁目～西春日井郡豊山町豊場	7.3
維持第二出張所	19号	名古屋市守山区大字瀬古字中島(勝川橋含む)～春日井市内津町字南山(内津トンネル含まず)	18.6
	22号	清須市西枇杷島町小田井一丁目(新名西橋含まず)～一宮市北方町北方(新木曾川橋含まず)	20.4
	41号	西春日井郡豊山町豊場～犬山市大字善師野(愛知県・岐阜県境)	20.5
維持第三出張所	1号	名古屋市熱田区神宮二丁目(国道19号247号交点・熱田神宮南交差点含まず)～三重県桑名市長島町東殿名字木曾(尾張大橋含む)	18.9
	23号	刈谷市今川町曾根(新境川橋含む)～三重県桑名郡木曾岬町大字川先(愛知県・三重県境鍋田川橋含む)	29.1
	302号	名古屋市緑区大高町字助治根山(水主ヶ池交差点含む)～名古屋市中川区富田町大字江松(かの里東交差点含む)	13.4
維持第四出張所	153号	名古屋市天白区植田西三丁目～みよし市打越町山ノ神(みよし市・豊田市境)	14.2
	302号	名古屋市中川区富田町大字江松(かの里交差点含まず)～名古屋市緑区大高町字助治根山(水主ヶ池交差点含まず)	45.5
岡崎国道維持出張所	1号	岡崎市本宿町字深田(豊川市・岡崎市境)～刈谷市今川町矢戸(新境橋含まず)	29.1
	23号	蒲郡市清田町井戸ヶ沢～刈谷市今川町曾根(新境川橋含まず)	36.1
	155号	知立市上重原町丸山～知立市山屋敷町板張	3.1
豊田維持出張所	153号	みよし市打越町山ノ神～豊田市大野瀬町(愛知県・長野県境)	60.1
	155号	知立市山屋敷町板張～瀬戸市東茨町	28.8
東三河維持出張所	1号	静岡県湖西市白須賀字宿南(愛知県・静岡県境)～岡崎市本宿町字深田(豊川市・岡崎市境)	31.5
	23号	豊橋市東細谷町字境川～豊川市為当町六反田	26.9
合 計			436.7

4. ここ10年の主な事業

(1) 国道 153 号 伊勢神改良

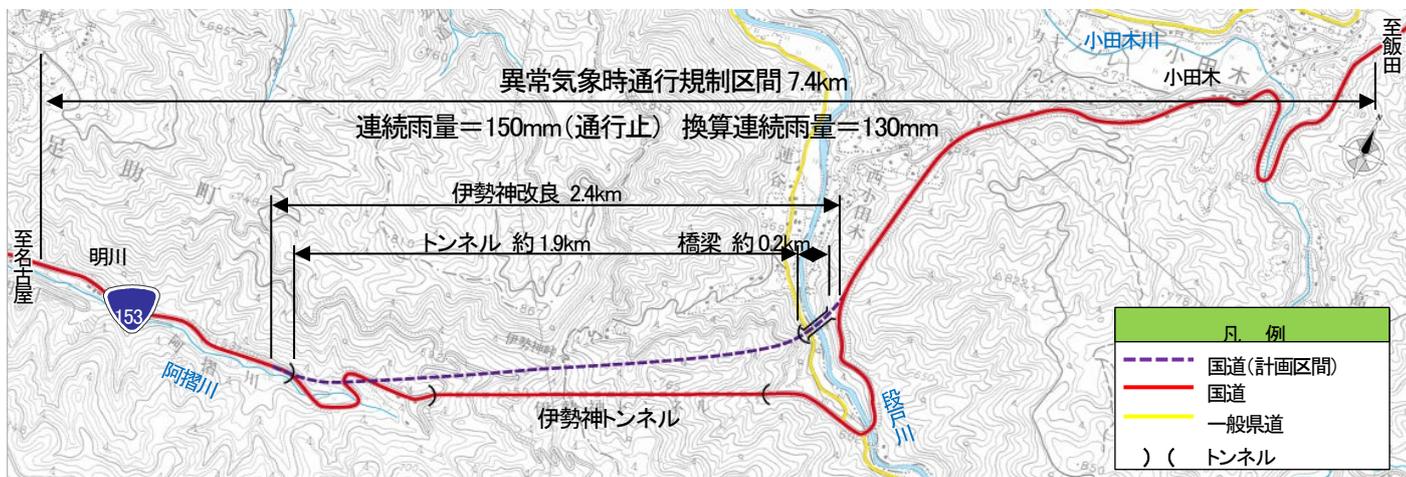
国道 153 号伊勢神改良は、危険性が高い現道 153 号の落石崩壊等の対策及び高さ制限の現道トンネルの対策を目的に計画された局部改良事業です。現伊勢神トンネルの断面不足による大型車すれ違い困難を解消し、線形不良箇所を回避するとともに、災害に強い幹線道路としての信頼性向上を図ります。

〈計画の概要〉

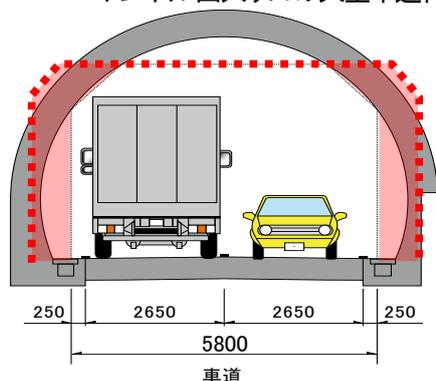
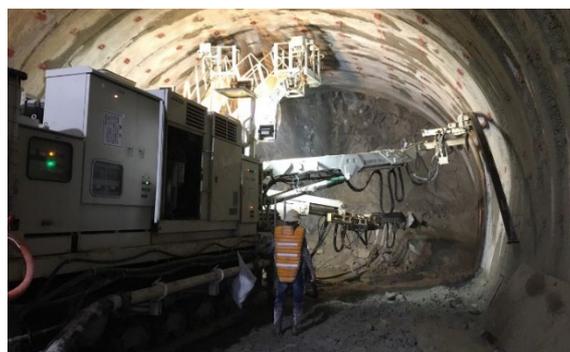
〈事業の経緯〉

- H24 国道 153 号伊勢神改良事業化
- H25 中心杭打ち式開催
- H27 国道 153 号伊勢神改良工事着手
- R3.3 新郡界橋(仮称)竣工
- R4.5 新伊勢神トンネル(仮称)着工式開催

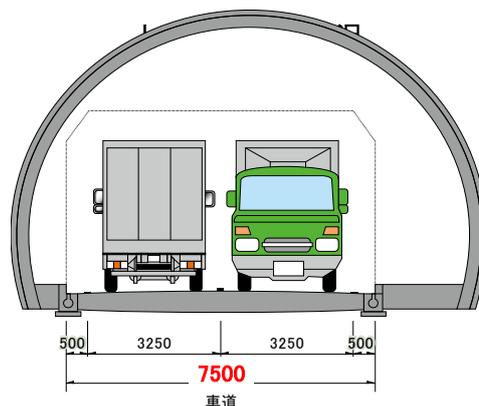
- 起終点 : (起)豊田市明川町
(終)豊田市小田木町
- 延長 : 2.4km
- 道路規格 : 3種2級
- 車線数 : 2車線
- 設計速度 : 60km/h



トンネル出入り口の大型車通行状況



現況 伊勢神トンネル



計画 新伊勢神トンネル(仮称)

あつたてんま

(2) 国道1号 愛知1号震災橋架替(熱田伝馬 橋架替)

熱田伝馬橋架替事業は、JR東海道本線に架設された熱田伝馬橋（旧橋：(昭和25年架橋)延長30.0m・拡幅橋：(昭和43年架橋)延長98.1m）の老朽化施設解消ならびに耐震強化向上を目的とした橋梁架替事業です。

〈事業の経緯〉

- S25 熱田伝馬橋架設
- H20 国道1号熱田伝馬橋架替事業化
- H26 国道1号熱田伝馬架替工事着手
- H27 JRと施工協定締結
- R2 迂回路橋供用開始

〈計画の概要〉

- 起終点 : (起)名古屋市瑞穂区桃園町
(終)名古屋市熱田区神宮
- 延長 : 0.8km
- 道路規格 : 4種1級
- 車線数 : 4車線
- 設計速度 : 60km/h



■内浜歩道橋より熱田伝馬橋を望む



■工事箇所全景

(3) 自転車通行空間整備

国道19号及び国道22号において、自転車道や自転車レーンの整備により、名古屋市内に連続した自転車通行空間の確保を図っています。

〈整備の経緯〉

- H20 国道19号伏見通（日銀前～若宮北 L=1.1km）において自転車歩行者道に自転車通行部分を明示
 国道19号桜通（日銀前～伊勢町通 L=0.8km）を自転車通行環境整備のモデル地区に指定
- H23 国道19号桜通（日銀前～伊勢町通 L=0.8km）にて自転車道（双方向通行）を整備
- H27 国道19号桜通（伊勢町通～小川 L=1.3km）にて自転車レーンを整備
- H30 国道19号伏見通（広小路伏見～若宮北 L=0.6km）にて自転車道（双方向通行）を整備
- R3 国道22号（幅下橋西～押切 L=0.7km）にて自転車道（双方向通行）を整備
- R4 国道19号（若宮北～金山新橋南 L=2.4km）にて自転車レーンを整備
- R5.6 国道19号伏見通（日銀前～広小路伏見 L=0.5km）にて自転車道（双方向通行）を整備
- R5.7 国道22号（日銀前～幅下橋西 L=1.1km）にて自転車通行空間の社会実験を予定



① 国道22号 自転車道

〈幅下橋西 交差点～押切 交差点〉



② 国道19号 自転車道

〈日銀前 交差点～伊勢町通〉



③ 国道19号 自転車レーン

〈伊勢町通 ～小川 交差点〉



④ 国道19号 自転車レーン

〈金山新橋南 交差点～若宮北 交差点〉



(4) 国道19号 桜通歩道空間再整備(桜通プロジェクト)

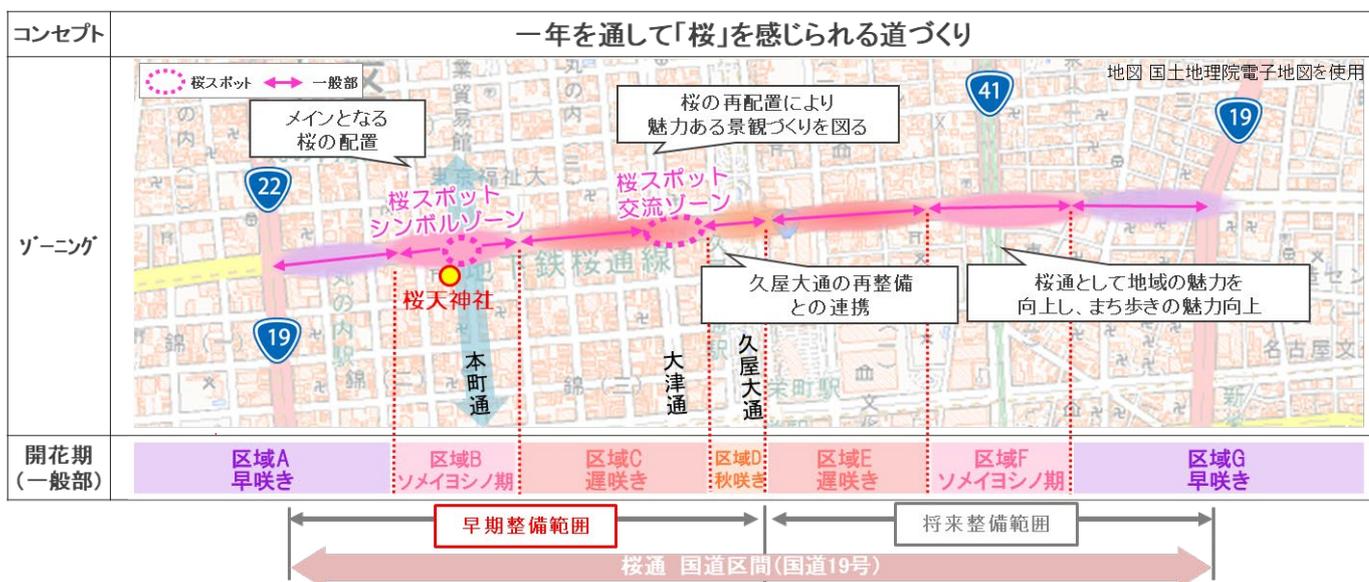
桜通プロジェクトは、「桜通」開通から 80 周年を迎えたことを契機に、より親しまれるにぎわいのある空間へと「桜通」のリニューアルを図るため、歩道空間を圧迫している植栽柵を撤去し、安心・安全な通行空間の確保と併せて、「一年を通じて「桜」を感じられる道づくり」をコンセプトに地域と一体となって歩道空間を再整備する事業です。

〈事業の経緯〉

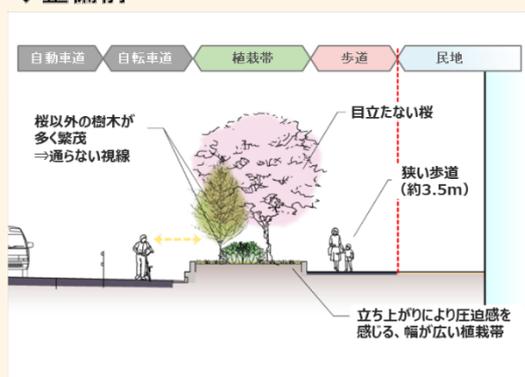
- H28 桜通開通 80 周年記念事業実行委員会・幹事会を設立
- H29 桜通開通 80 周年記念植樹式
桜通女性 80 人ワークショップ実施
休憩スペース設置の社会実験の実施
- R4 スポットゾーンの先行整備完了
- R5 桜通歩道空間再整備事業化（日銀前～桜通久屋東）

〈計画の概要〉

- 起終点 : (起)名古屋市中区丸の内1丁目
(終)名古屋市中区東3丁目
- 延長 : 2.1km
- 道路規格 : 4種1級
- 車線数 : 6～10車線
- 設計速度 : 60km/h



◆整備前

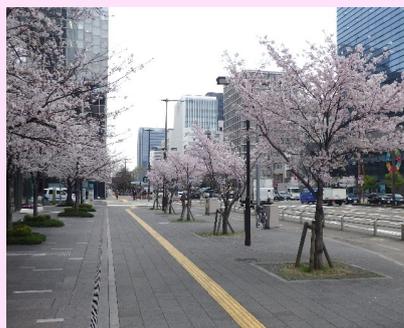
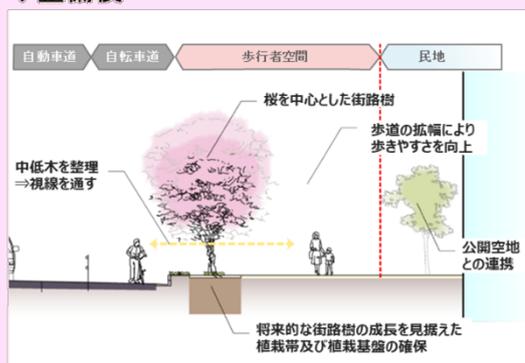


■桜通本町交差点



■桜通大津交差点

◆整備後



■桜通本町交差点



■桜通大津交差点

(5) 国道1号岡崎地区歩道整備

国道1号岡崎地区歩道整備は、歩道拡幅、自転車通行帯整備、車線幅員の適正化により、安全・快適で良好な道路空間を形成する事業です。

〈事業の経緯〉

- S21 都市計画決定（幅員3.6m）
- H22 都市計画変更（幅員3.0m）
- R3.4 国道1号岡崎地区歩道整備事業化
- R3.9 都市計画事業承認告示
- R3.11 地域住民事業計画説明会、施行者の公告
- R4.1 都市計画事業承認説明会

〈計画の概要〉

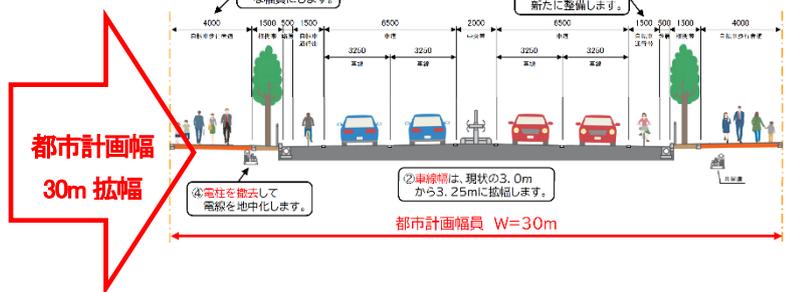
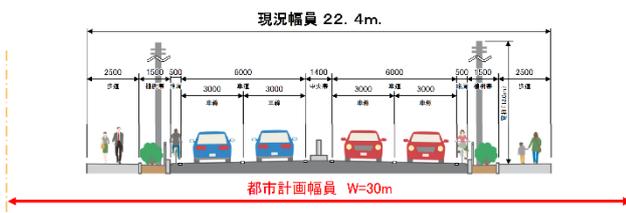
- 起終点：（起）岡崎市菅生町字蟹沢
（終）岡崎市康生通四丁目
- 延長：1.3km
- 道路規格：4種1級
- 車線数：4車線
- 設計速度：60km/h



通勤通学の歩道状況



大型車の通行状況



(6) 国道19号 日銀前舗装修繕

国道19号日銀前交差点は、国道19号と国道22号が分岐する交差点で3方向が国道、一方が名古屋駅に向かう県道であり1日の交通量は約50,000台です。また、周辺はオフィス街となっており居住施設が少ないため、交通騒音の影響も少ないことからコンクリート舗装による修繕を計画しました。

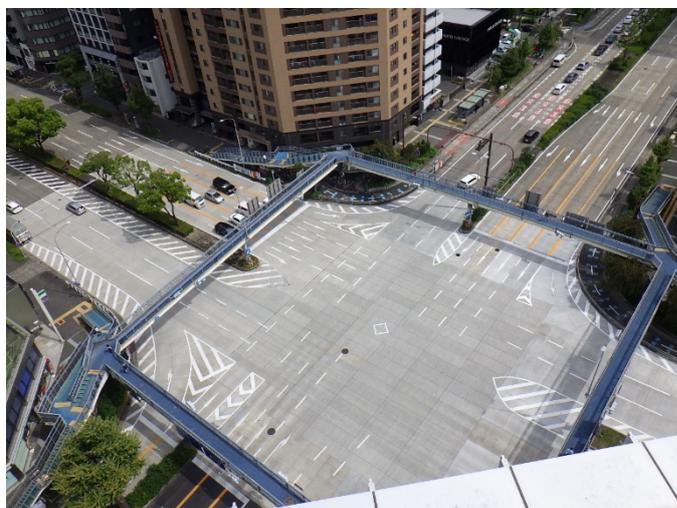
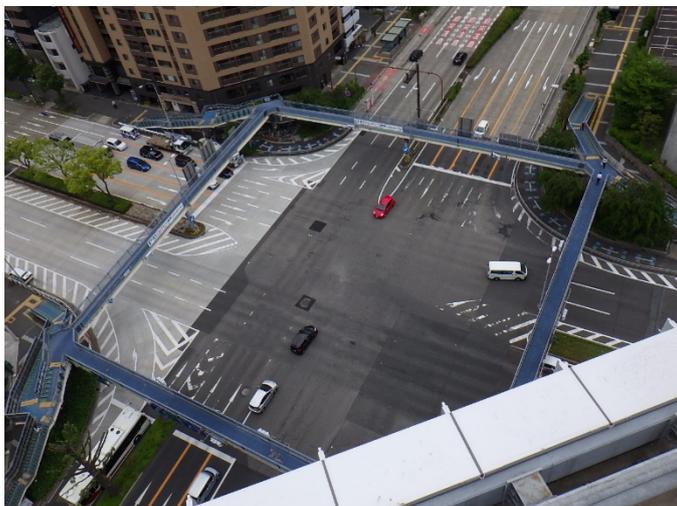
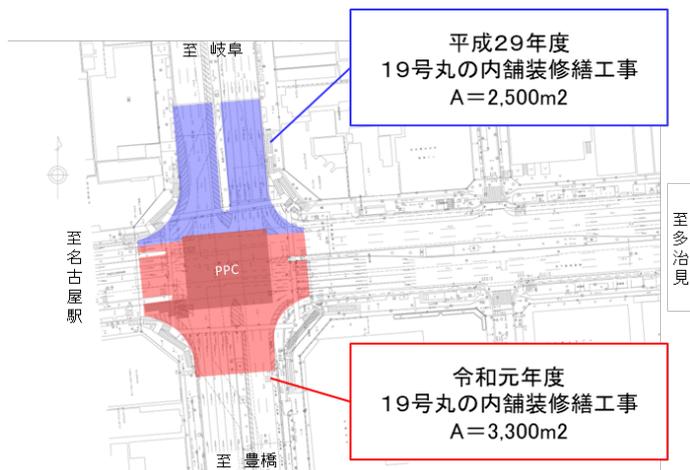
現場打ちコンクリートによる施工となると、昼夜終日連続規制が必要となることから、夜間規制のみで交通開放できるPPC（プレキャストプレストレストコンクリート）版の採用を検討しました。

PPC版は現場打ちに比べ高価であることから、昼間の車線規制の影響が大きい交差点内中央付近をPPC版、それ以外は現場打ちとすることで、交通への影響を最小限、費用の抑制を図りました。

工事については、北側部分、南側部分（交差点含む）を分割して施工しました。

(工事概要)

- 北側部分：平成29年度19号丸の内舗装修繕工事 H30.3.21～H31.3.15
 交差点北側区間において現場打ちコンクリートによる舗装修繕を実施
 乗り入れがあることから、一部区間で1DAYPAVE（早期交通開放型コンクリート舗装）を施工
- 南側部分：令和元年度19号丸の内地区舗装修繕工事 R1.12.23～R3.10.29
 交差点南側区間において、交差点内中央付近をPPC版それ以外は現場打ちコンクリートによる舗装修繕を実施



(7)国道 23号 道の駅「とよはし」

道の駅「とよはし」は、令和元年5月に供用された道の駅で、令和3年6月に愛知県内で唯一「防災道の駅」に選定されました。大規模災害時の広域的な防災拠点として、自衛隊、警察、テックフォース等の救護活動の拠点としての役割や、緊急物資等の基地機能の役割を担い、地域の一時避難所としても活用されます。

令和5年3月4日には、名古屋国道事務所と豊橋市と民間と3者合同で防災啓発イベントを実施しました。

〈事業の経緯〉

- H27 事業化
- H27 重点道の駅に選定
- H31 道の駅登録
- R15 供用
- R3.6 防災道の駅に選定
- R4.3 防災拠点自動車駐車場に指定

〈計画の概要〉

- 駅名：「とよはし」(一体型)
- 路線：国道23号
- 住所：愛知県豊橋市東七根
字一の沢113番地の2
- 設置者：豊橋市
- 管理運営者：(株)道の駅とよはし

〈施設概要〉

- 駐車場：普通車170台、
大型車82台、身障者用6台
- トイレ：男子26器、女子26器、
身障者用3器
- 地域振興施設
- 情報提供施設
- 防災備蓄倉庫



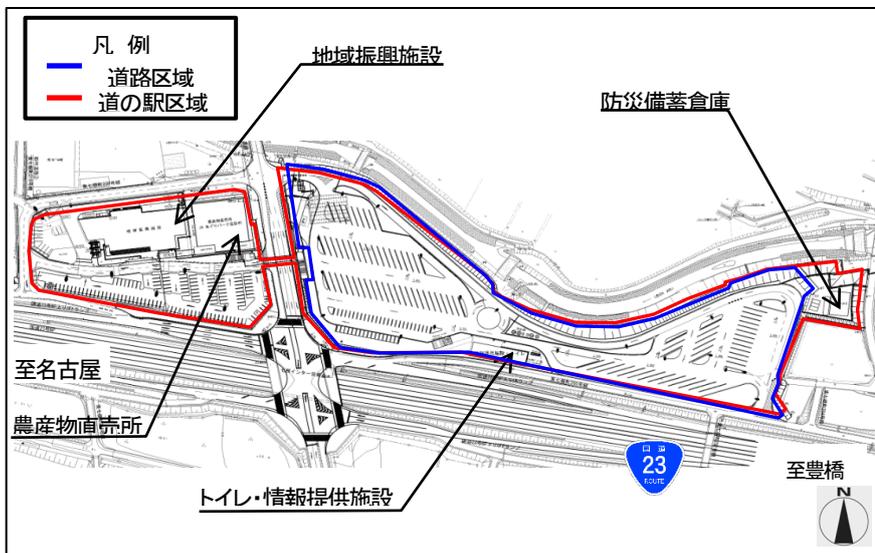
全景写真・開駅イベント



防災備蓄倉庫



トイレ・情報提供施設



平面図

5. 事務所・出張所組織の推移

課名 年度	庶務課	工務課	用地課	管理課	調査課	機械課	経理課	道路管理課	管理一課	管理二課	管理課	工務課	共同溝課	交通対策課	管理第一課	管理第二課	電気通信課	総務課	用地課	環境整備課	用地第一課	用地第二課	計画課	防災情報課	品質確保課
昭和27年																									
昭和28年																									
昭和29年																									
昭和30年			(設置)																						
昭和31年			(設置)																						
昭和32年			(設置)																						
昭和33年			(設置)																						
昭和34年			(設置)																						
昭和35年			(設置)																						
昭和36年			(設置)																						
昭和37年			(設置)																						
昭和38年			(設置)																						
昭和39年			(設置)																						
昭和40年			(設置)																						
昭和41年			(設置)																						
昭和42年			(設置)																						
昭和43年			(設置)																						
昭和44年			(設置)																						
昭和45年			(設置)																						
昭和46年			(設置)																						
昭和47年			(設置)																						
昭和48年			(設置)																						
昭和49年			(設置)																						
昭和50年			(設置)																						
昭和51年			(設置)																						
昭和52年			(設置)																						
昭和53年			(設置)																						
昭和54年			(設置)																						
昭和55年			(設置)																						
昭和56年			(設置)																						
昭和57年			(設置)																						
昭和58年			(設置)																						
昭和59年			(設置)																						
昭和60年			(設置)																						
昭和61年			(設置)																						
昭和62年			(設置)																						
昭和63年			(設置)																						
平成元年			(設置)																						
平成2年			(設置)																						
平成3年			(設置)																						
平成4年			(設置)																						
平成5年			(設置)																						
平成6年			(設置)																						
平成7年			(設置)																						
平成8年			(設置)																						
平成9年			(設置)																						
平成10年			(設置)																						
平成11年			(設置)																						
平成12年			(設置)																						
平成13年			(設置)																						
平成14年			(設置)																						
平成15年			(設置)																						
平成16年			(設置)																						
平成17年			(設置)																						
平成18年			(設置)																						
平成19年			(設置)																						
平成20年			(設置)																						
平成21年			(設置)																						
平成22年			(設置)																						
平成23年			(設置)																						
平成24年			(設置)																						
平成25年			(設置)																						
平成26年			(設置)																						
平成27年			(設置)																						
平成28年			(設置)																						
平成29年			(設置)																						
平成30年			(設置)																						
令和元年			(設置)																						
令和2年			(設置)																						
令和3年			(設置)																						
令和4年			(設置)																						
令和4年度							経理課						工務課												

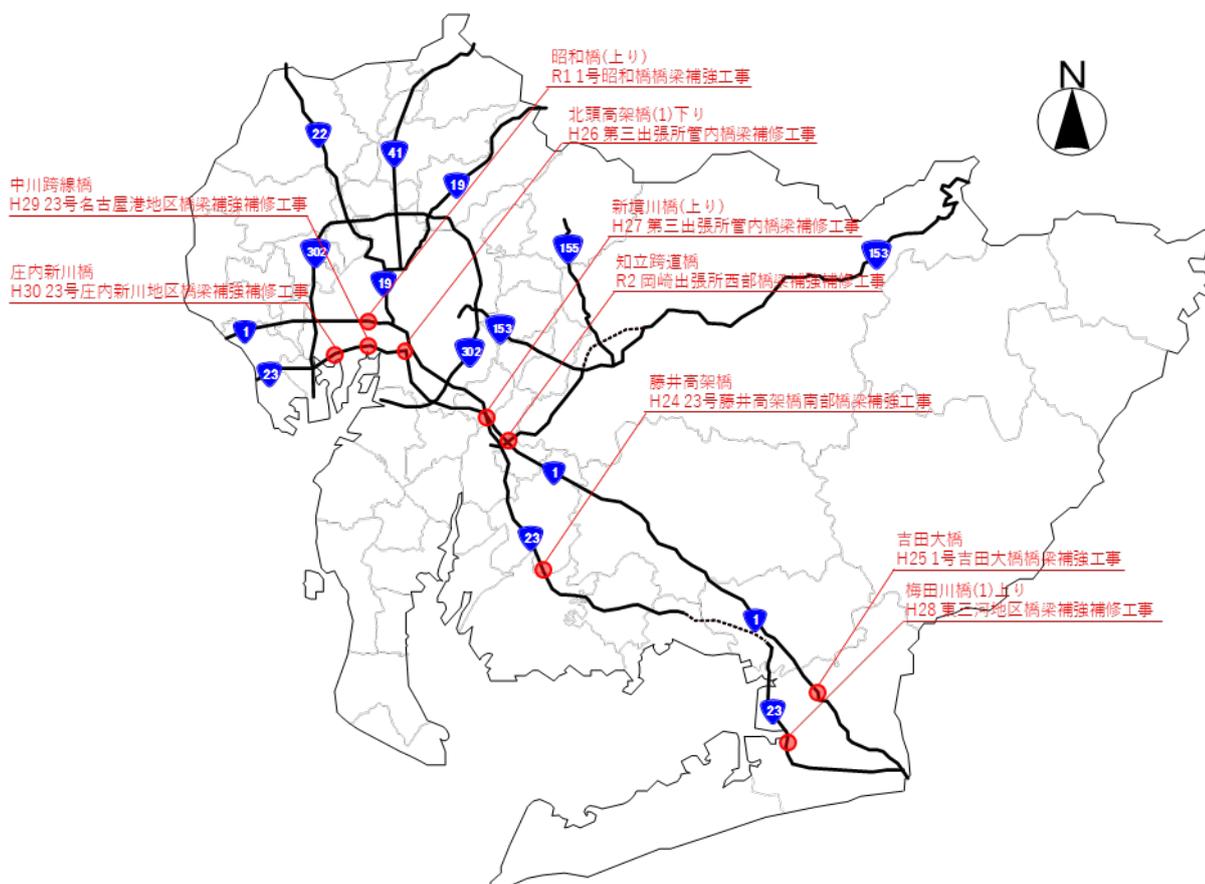
出張所名 年度	笠寺出張所	熱田出張所	大慶橋出張所	豊明出張所	三河出張所	本宿出張所	美合出張所	岐阜維持出張所	春日井出張所	北部出張所	名岐出張所	枇杷島出張所	新川出張所	一宮出張所	第一出張所	第二出張所	岡崎出張所	第三出張所	豊田出張所	春日井出張所	豊明出張所	第四出張所	東三河出張所																																																																																																																																																																																								
	昭和27年 昭和28年 昭和29年 昭和30年	(設置)	(三河出張所に名称変更)	(豊明出張所に名称変更)	出から	熱田から	豊明所から	三河出から	名称変更	から名称変更 本宿出張所	(設置)	(設置)	(設置)	枇杷島出張所	から名称変更 名岐出張所	から名称変更 笠寺出張所	から名称変更 北部出張所	から名称変更 美合出張所	(設置)	(設置)	(設置)	(名四国道から所属変更)																																																																																																																																																																																									
昭和31年 昭和32年 昭和33年 昭和34年 昭和35年	(第一出張所に名称変更)				(本宿出張所に名称変更)	(美合出張所に名称変更)	(春日井出張所に名称変更)	(岡崎出張所に名称変更)	(岐阜国道に所属変更)	(第二出張所に名称変更)	(第一宮出張所に名称変更)	(新川出張所に名称変更)	(廃止)	(廃止)	(廃止)	(廃止)	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	(愛知国道に所属変更)	(愛知国道に所属変更)	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)																																																																																																																																																																																					
昭和36年 昭和37年 昭和38年 昭和39年 昭和40年																											(設置)																																																																																																																																																																																				
昭和41年 昭和42年 昭和43年 昭和44年 昭和45年																																																		(設置)																																																																																																																																																													
昭和46年 昭和47年 昭和48年 昭和49年 昭和50年																																																																									(設置)																																																																																																																																						
昭和51年 昭和52年 昭和53年 昭和54年 昭和55年																																																																																																(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)																																																																																									
昭和56年 昭和57年 昭和58年 昭和59年 昭和60年																																																																																																																							(設置)																																																																																								
昭和61年 昭和62年 昭和63年																																																																																																																																														(設置)																																																																	
平成元年 平成2年 平成3年 平成4年 平成5年																																																																																																																																																																					(設置)																																										
平成6年 平成7年 平成8年 平成9年 平成10年																																																																																																																																																																																												(設置)																			
平成11年 平成12年 平成13年 平成14年 平成15年		(設置)	(設置)	(設置)																																																																																																																																																																																																											
平成16年 平成17年 平成18年 平成19年 平成20年	(設置)				(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)																																																																																																																																																																																					
平成21年 平成22年 平成23年 平成24年 平成25年																											(設置)																																																																																																																																																																																				
平成26年 平成27年 平成28年 平成29年 平成30年																																																		(設置)																																																																																																																																																													
令和元年 令和2年 令和3年 令和4年																																																																									(設置)																																																																																																																																						
令和4年度																																																																																																第一出張所	第二出張所	岡崎出張所	第三出張所	豊田出張所																																																																																																											

年度	笠寺出張所	熱田出張所	大慶橋出張所	豊明出張所	三河出張所	本宿出張所	美合出張所	岐阜維持出張所	春日井出張所	北部出張所	名岐出張所	枇杷島出張所	新川出張所	一宮出張所	第一出張所	第二出張所	岡崎出張所	第三出張所	豊田出張所	春日井出張所	豊明出張所	第四出張所	
昭和27年		(設置)	出から	熱田から	豊明所から	三河出張所	から名称変更	(設置)	から名称変更														
昭和28年			大慶橋																				
昭和29年																							
昭和30年																							
昭和31年		(三河出張所に名称変更)		(豊明出張所に名称変更)	(本宿出張所に名称変更)	(美合出張所に名称変更)	(春日井出張所に名称変更)	(岡崎出張所に名称変更)	(岐阜国道に所属変更)	(新川出張所に名称変更)	(一宮出張所に名称変更)	(設置)	枇杷島出張所	から名称変更	笠寺出張所	から名称変更	北部出張所	から名称変更	美合出張所	から名称変更			
昭和32年																							
昭和33年																							
昭和34年																							
昭和35年																							
昭和36年	(第一出張所に名称変更)																						
昭和37年																							
昭和38年																							
昭和39年																							
昭和40年																							
昭和41年																							
昭和42年																							
昭和43年																							
昭和44年																							
昭和45年																							
昭和46年																							
昭和47年																							
昭和48年																							
昭和49年																							
昭和50年																							
昭和51年																							
昭和52年																							
昭和53年																							
昭和54年																							
昭和55年																							
昭和56年																							
昭和57年																							
昭和58年																							
昭和59年																							
昭和60年																							
昭和61年																							
昭和62年																							
昭和63年																							
平成元年																							
平成2年																							
平成3年																							
平成4年																							
平成5年																							
平成6年																							
平成7年																							
平成8年																							
平成9年																							
平成10年																							
平成11年																							
平成12年																							
平成13年																							
平成14年																							
平成15年																							
平成16年																							
平成17年																							
平成18年																							
平成19年																							
平成20年																							
平成21年																							
平成22年																							
平成23年																							
平成24年																							
平成四月一日															第一出張所	第二出張所	岡崎出張所	第三出張所	豊田出張所				第四出張所

6. 事業関連データ

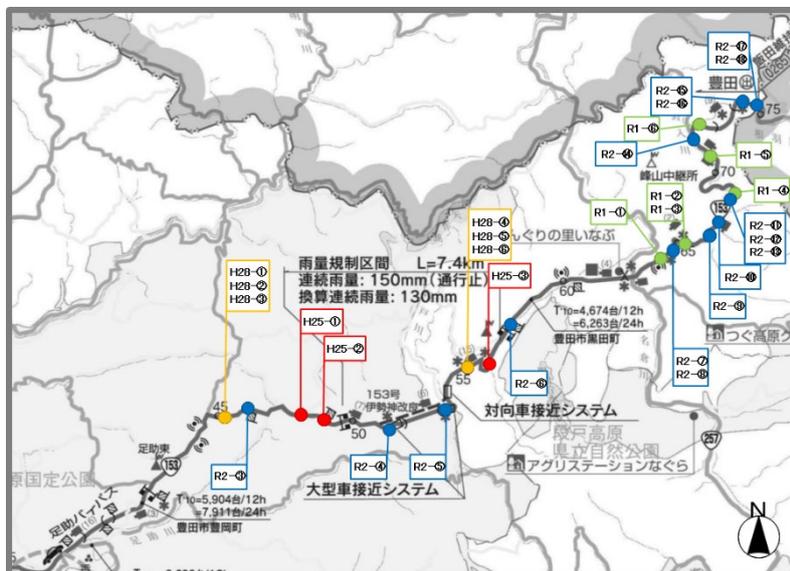
① 橋梁補強工事一覧

年度	工事件数	対象橋梁	
		補修工事	補強工事
H24	28件	山崎川橋ほか 112橋	藤井高架橋ほか 70橋
H25	22件	吉田大橋ほか 138橋	佐屋大橋ほか 74橋
H26	8件	北頭高架橋(1)下りほか 28橋	蟹江大橋ほか 20橋
H27	11件	新境川橋(上り)ほか 69橋	善太大橋ほか 39橋
H28	17件	大平橋(下り)ほか 86橋	梅田川橋(1)上り 57橋
H29	10件	中川跨線橋ほか 66橋	筏川橋ほか 34橋
H30	15件	伝法寺橋ほか 83橋	庄内新川橋ほか 37橋
R1	19件	道徳高架橋(2)下りほか 83橋	昭和橋(上り)ほか 22橋
R2	7件	北方高架橋(下り)ほか 29橋	知立跨道橋ほか 11橋
R3	6件	豊川橋(上り)ほか 25橋	新平田橋(2)ほか 14橋
R4	7件	寛政高架橋(2)ほか 32橋	南陽橋(旧橋)ほか 7橋



①防災工事一覧

年度	箇所名	号線	施設管理番号	距離標	上下	おもな対策内容	完了	番号
H25	豊田市明川町	153	T153Z372	48.06	上	法面吹付・鉄筋挿入	H27.1	H25-①
	豊田市明川町井戸洞	153	T153Z387	49.095	下	法面吹付・鉄筋挿入		H25-②
	豊田市小田木町ウレミチ	153	T153Z555	56.468	上	法面吹付・鉄筋挿入		H25-③
H28	豊田市大井町ミコガ入	153	T153F120	45.219	上	ブロック積擁壁・法面吹付・鉄筋挿入	H29.9	H28-①
	豊田市大井町ミコガ入	153	T153G299	45.237	上	ブロック積擁壁・法面吹付・鉄筋挿入		H28-②
	豊田市大井町ミコガ入	153	T153G301	45.266	上	ブロック積擁壁・法面吹付・鉄筋挿入		H28-③
	豊田市小田木町カキノソレ	153	T153Z533	55.709	上	法面吹付・鉄筋挿入		H28-④
	豊田市小田木町カキノソレ	153	-	55.768	下	ブロック積		H28-⑤
	豊田市小田木町カキノソレ	153	T153G405	55.79	上	ブロック積・鉄筋挿入		H28-⑥
H29	豊川市長沢町木ノ田	1	O001F025	33.006	下	法面保護	H30.9	H29-①
	豊橋市富久岡町西ノ坪	23	-	20.35	上	法面吹付・鉄筋挿入		H29-②
R1	豊田市夏焼町クルミサワ	153	T153Z640	63.783	上	高強度ネット・鉄筋挿入	R2.7	R1-①
	豊田市夏焼町	153	T153F258	65.148	上	かご・排水		R1-②
	豊田市夏焼町	153	T153F261	65.214	下	法枠・堰堤・集水ポーリング		R1-③
	豊田市大野瀬町	153	T153F333	68.184	下	法枠・鉄筋挿入		R1-④
	豊田市大野瀬町上柏洞	153	T153F399	70.65	下	擁壁		R1-⑤
	豊田市大野瀬町	153	T153X736 T153Y736	72.118	上	かご		R1-⑥
R2	春日井市内津町	19	N019X030	30.841	下	落石防止網	R3.9	R2-①
	春日井市内津町	19	N019X033	30.838	上	落石防止網		R2-②
R2	豊田市北小田町風穴	153	T153Y330	46.21	下	法枠	R4.8	R2-③
	豊田市明川町	153	T153E072	51.16	上	落石防護柵		R2-④
	豊田市連谷町	153	T153E085	53.26	上	落石防護柵		R2-⑤
	豊田市黒田町北水別	153	T153F205	58.263	上	鉄筋挿入		R2-⑥
	豊田市夏焼町イハクラ	153	T153E170	64.221	上	落石防護柵・重力式擁壁		R2-⑦
	豊田市夏焼町イハクラ	153	T153E172	64.402	上	落石防護柵・重力式擁壁		R2-⑧
	豊田市野入町ナギ下	153	T153H018	66.494	上	かご		R2-⑨
	豊田市野入町下モ平	153	T153E184	67.521	上	落石防護柵・重力式擁壁		R2-⑩
	豊田市野入町貝曲り	153	T153E188	67.95	上	落石防護柵・重力式擁壁		R2-⑪
	豊田市野入町貝曲り	153	T153E189	68.001	上	落石防護柵・重力式擁壁		R2-⑫
	豊田市野入町貝曲り	153	T153E190	68.059	上	落石防護柵・重力式擁壁		R2-⑬
	豊田市大野瀬町	153	T153E213	71.733	上	落石防護柵・重力式擁壁		R2-⑭
	豊田市大野瀬町	153	T153E219	73.903	下	落石防護柵・重力式擁壁		R2-⑮
	豊田市大野瀬町	153	T153E220	73.98	下	落石防護柵		R2-⑯
豊田市大野瀬町	153	T153E221	74.058	下	落石防護柵	R2-⑰		
豊田市大野瀬町	153	T153E222	74.115	下	落石防護柵・重力式擁壁	R2-⑱		
R2	豊田市篠原町屋下	155	-	23.283	上	地山補強土	R4.3	R2-⑲
	豊田市大畑町前田	155	T155G100	25.56	下	張りコンクリート		R2-⑳
	豊田市八草町向田	155	T155F060	26.29	下	コンクリートブロック積		R2-㉑



③交通安全対策(I 種)事業一覧

(1)交差点改良

事業化年度	事業名	路線名	距離標	事業完了
H16	陣中町交差点改良	153	19.0 ~ 20.5	H27.3
H19	西町交差点改良	155	-0.1 ~ 0.2	H27.3
H23	穴田交差点改良	1	303.7 ~ 304.0	H26.2
H24	西三河地区交差点改良	1	318.8 ~ 330.6	H26.6
H24	東三河地区交差点改良	1	291.6 ~ 299.5	H27.3
H24	尾張北地区交差点改良	22	14.8 ~ 23.7	H29.6
H24	村中地区交差点改良	41	14.3 ~ 14.9	H28.9
H24	尾張地区交差点改良	41	7.3 ~ 13.0	H29.6
H24	名古屋北地区交差点改良	41	0.1 ~ 2.5	H26.3
H25	三ノ輪地区交差点改良	1	293.5 ~ 293.8	H29.3
H25	知立豊田地区交差点改良	155	-1.3 ~ 2.2	H30.6
H26	音羽地区交差点改良	1	310.4 ~ 311.0	H27.3
H26	尾崎地区交差点改良	1	332.5 ~ 332.7	H30.3
H26	伏見地区交差点改良	19	5.3 ~ 5.4	R3.3
H26	丸の内地区交差点改良	22	6.2 ~ 6.4	H27.6
H26	東片端地区交差点改良	41	0.4 ~ 0.6	H29.3
H27	中汐田交差点改良	1	352.0 ~ 352.3	H30.6
H27	平戸橋西交差点改良	153	24.1 ~ 24.3	R2.4
H27	猪高台交差点改良	302	29.0 ~ 29.3	H29.1
H27	名古屋南インター交差点改良	302	45.2 ~ 45.9	H30.6
H27	西市場地区交差点改良	302	10.7 ~ 11.1	H29.3
H27	東海インター交差点改良	302	49.9 ~ 49.9	H29.3
H28	三河地区事故対策	1	331.4 ~ 338.1	H28.9
H28	弥富地区事故対策	1	374.0 ~ 376.0	H29.3
H28	日進東郷地区事故対策	153	6.4 ~ 10.7	H30.3
H29	春日井地区事故対策	19	20.2 ~ 26.0	H31.3
H29	豊橋岡崎地区事故対策	1	293.9 ~ 317.2	R5.1
H29	名古屋南部地区事故対策	1	349.4 ~ 356.1	R5.3
H29	植田中学校北交差点改良	153	1.7 ~ 1.9	R5.3
H30	桜通事故対策	19	6.6 ~ 7.8	R5.3
H30	勝川四丁目交差点改良	19	14.9 ~	R2.3
H30	松河戸町北交差点事故対策	302	23.6 ~ 23.9	R3.3

H30	堀越交差点改良	22	10.6 ~ 10.8	R3.3
事業化年度	事業名	路線名	距離標	事業完了
H30	鳥居交差点改良	23	340.0 ~ 340.2	R1.5
R1	弥富高架橋南交差点改良	1	374.5 ~ 374.8	R3.12
R1	古城交差点改良	22	11.6 ~ 12.1	R3.9
R1	黒川交差点改良	41	2.4 ~ 2.6	R3.3
R1	平針地区交差点改良	302	35.7 ~ 36.1	R4.1
R1	丸の内二丁目地区事故対策	19	6.2 ~ 6.4	R3.3
R2	東栄町三丁目東交差点改良	1	334.3 ~ 334.7	R5.1
R2	貴生町・貴生町西交差点改良	302	14.7 ~ 15.2	R4.2
R2	玉池町交差点改良	302	15.7 ~ 15.8	R4.2
R2	追進町三丁目交差点改良	302	20.9 ~ 21.3	R4.12
R3	円六橋・瓦町交差点改良	1	294.4 ~ 294.9	R5.1

(2) 歩道整備

事業化年度	事業名	路線名	距離標	事業完了
H14	中金町歩道整備	153	30.4 ~ 30.8	H23.2
H19	大坪町歩道整備	155	29.0 ~ 29.4	H28.2
H24	堀越歩道整備	22	10.1 ~ 10.3	H30.6
H25	力石歩道整備	153	27.1 ~ 28.2	H30.3
H28	南堀越歩道整備事業	22	10.0 ~ 10.4	H30.3
R1	丸の内二丁目地区事故対策	19	6.2 ~ 6.4	R3.3

(3) 自転車通行空間整備

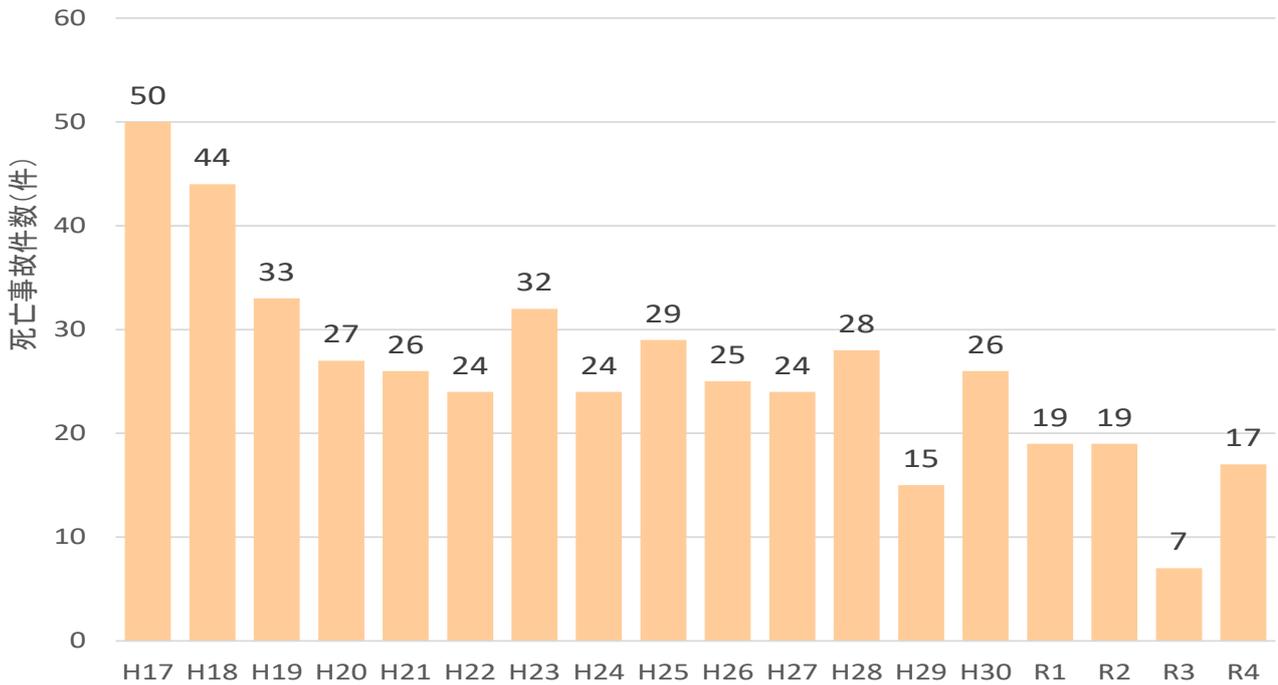
事業化年度	事業名	路線名	距離標	事業完了
H20	桜通自転車道整備	19	6.0 ~ 8.0	H27.5
H26	名古屋西部自転車空間整備	22	6.9 ~ 7.7	R3.3
R3	名古屋南部自転車空間整備	19	2.4 ~ 4.7	R4.12

(4) その他

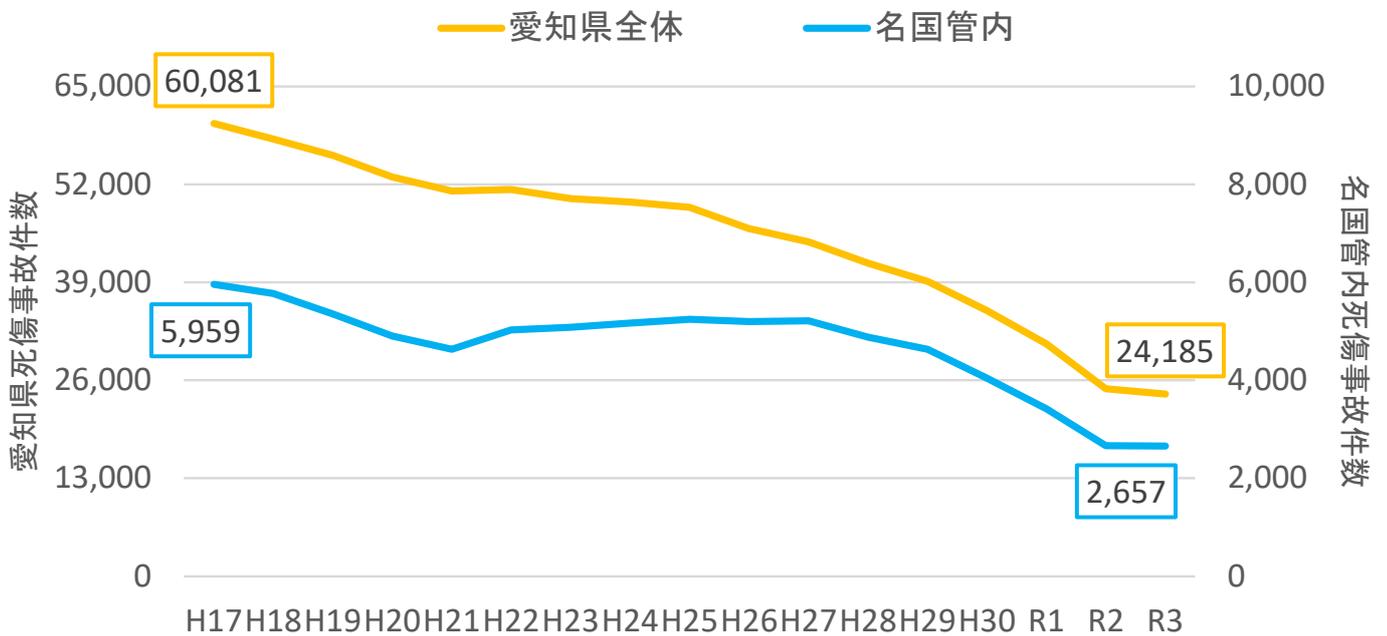
事業化年度	事業名	路線名	距離標	事業完了
H19	岡崎市藤川簡易パーキング	1	319.9 ~	H24.12
H25	弥富特車基地施設整備	1	372.4 ~ 372.5	H28.3
H28	豊橋簡易パーキング整備	23	6.9 ~	R1.5

④交通事故の状況

(1)死亡事故件数の推移(名国管内)



(2)死傷事故件数の推移



出典: 名国管内ITARDA 事故別データ/ITARDA 交通事故統計年報(H17~R3年)

⑤電線共同溝・共同溝事業

(1)電線共同溝事業

完成年度	路線番号	事業名	整備延長(km)	整備区間
24	22	枇杷島電線共同溝	4.4	名古屋市西区栄生3丁目～名古屋市西区堀越2丁目
26	153	豊田陣中電線共同溝	0.9	豊田市久保町2丁目～豊田市陣中町1丁目
27	1	一色Ⅰ電線共同溝	2.6	名古屋市中川区昭和橋通9丁目～名古屋市中川区下之一色町
29	1	瓦町電線共同溝	2.7	豊橋市三ノ輪町1丁目～豊橋市西新町
30	19	守山電線共同溝	1.8	名古屋市守山区瀬古東1丁目～名古屋市守山区瀬古東3丁目
R1	1	岡崎康生電線共同溝	0.7	岡崎市六地藏町～岡崎市康生通南2丁目

(2)共同溝事業

完成年度	路線番号	事業名	整備延長(km)	整備区間
H25	302	松河戸共同溝(その2～4)	0.4	春日井市勝川町5丁目～9丁目
R3	302	鳴海Ⅲ共同溝	1.5	名古屋市緑区乗鞍1丁目～大高町字中平部
R3	302	緑地共同溝(その3)	1.4	名古屋市緑区大高町字中平部～殿山

※愛知国道事務所事業区間

⑤保有機械一覧

機 種	台 数	
道路維持用機械	道路パトロールカー	14
	路面清掃車	3
	散水車	4
	排水管清掃車(水循環式)	1
	橋梁点検車	1
災害対策用機械	照明車	1
除雪用機械	除雪トラック	1
	凍結防止剤散布車	10
	凍結防止剤散布機	9
	小型除雪機	1

名古屋国道事務所（令和5年3月現在）



新型路面清掃車の導入(平成24年度)



散水車(給水対応型)の導入(令和2年度)



除雪トラックの導入(令和2年度)



小型除雪機の導入(令和4年度)

⑥ 占用許可件数

年度	一般占用	電気事業	通信事業	上水道	下水道	ガス事業	合計
平成 24 年度	986	288	265	111	73	75	1,798
平成 25 年度	950	324	229	147	121	120	1,891
平成 26 年度	681	331	443	127	82	162	1,826
平成 27 年度	439	303	297	136	77	111	1,363
平成 28 年度	778	258	216	151	93	71	1,567
平成 29 年度	535	612	319	142	91	76	1,775
平成 30 年度	648	337	222	129	80	96	1,512
令和元年度	681	314	228	92	69	69	1,453
令和 2 年度	855	319	234	110	96	78	1,692
令和 3 年度	915	269	221	84	59	81	1,629

⑦ 特殊車両通行許可件数

年度	許可件数
平成 27 年度	19,035
平成 28 年度	20,920
平成 29 年度	26,736
平成 30 年度	33,350
令和元年度	36,442
令和 2 年度	50,690
令和 3 年度	52,127

⑧ ボランティアサポートプログラム登録団体数

号線	登録団体数
国道 1 号線	8
国道 19 号線	27
国道 22 号線	2
国道 23 号線	5
国道 41 号線	5
国道 153 号線	5
国道 155 号線	4
国道 302 号線	14
合計	70

出張所	登録団体数
維持第一	33
維持第二	3
維持第三	8
維持第四	13
岡崎維持	3
豊田維持	7
東三河維持	3
合計	70

令和 5 年 3 月 31 日現在

⑨通行規制の実績

(1)名古屋国道事務所管内通行規制区間

国道 153 号 規制区間箇所	規制区間		規制基準値			
	箇所	延長	通行注意		通行止	
稲武	豊田市明川町亀平 ~ 豊田市小田木町イナバ	7.4km	連続雨量 120mmm		連続雨量 150 mm※	

※実効雨量(換算連続雨量)130ミリを併用試行する。

(2)通行規制の実績

【上段括弧は規制雨量(単位:ミリ)、下段は通行止め回数】

区間	昭和																			平成 元	2	小計								
	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62				63							
足助東	(70)																			(100)				(130)				(150)		
	0	0	0	0	0	1	1	2	0	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0								
稲武 (※1)																				(130)										
																				0	1	0	0	0	2	1	4			
東枝下	(100)																			(130)				(150)						
	0	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0						
計	0	0	1	2	0	1	1	3	0	1	0	0	0	2	2	0	3	0	0	0	3	1	20							

区間	平成																				小計		
	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22		23	
足助東	(150)																						
	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	
稲武	(130)					(150)																	
	1	0	0	1	1	0	0	1	1	1	1	0	1	2	0	0	1	0	0	0	2	13	
東枝下 (※2)	(150)																						
	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0											3
計	2	0	0	1	1	0	1	1	3	3	1	0	1	2	0	0	1	0	0	0	3	20	

区間	平成							令和				小計	合計
	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4		
足助東 (※3)	(150)												
	0	1	0									1	14
稲武	(150)												
	0	1	0	1	0	2	2	1	0	0	0	7	24
東枝下 (※2)													
													10
計	0	2	0	1	0	2	2	1	0	0	0	20	48

※1 稲武は S59 年度より直轄区間編入

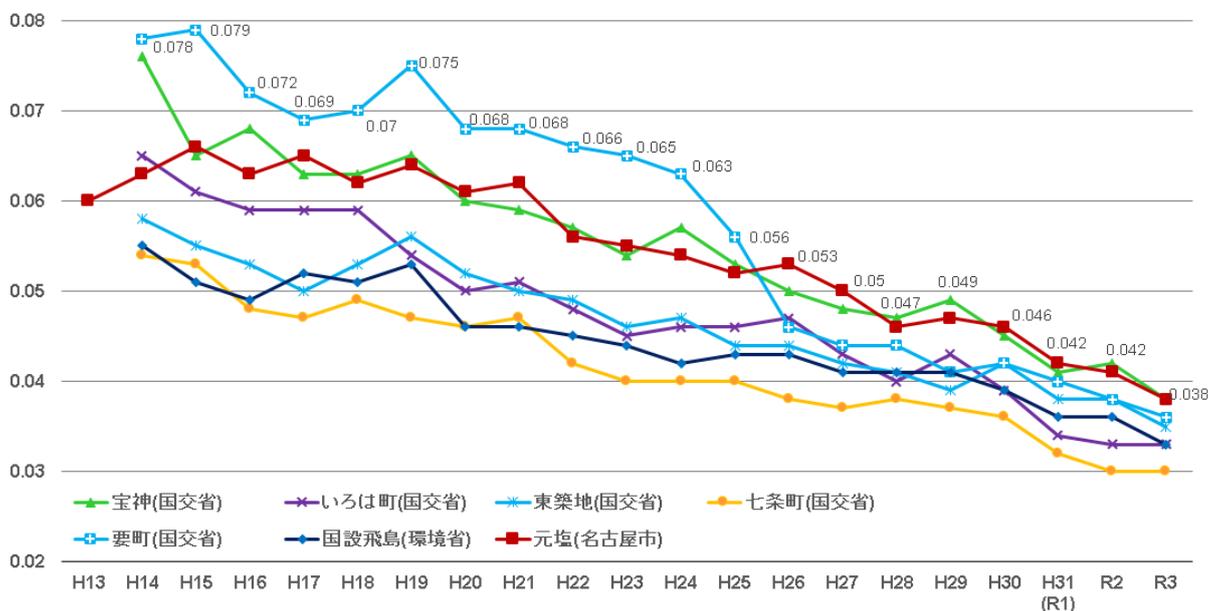
※2 東枝下(豊田市勘八町~豊田市力石町)は H13 年度に規制区間解除

※3 足助東(豊田市足助町~豊田市豊岡町)は H26 年度に規制区間解除

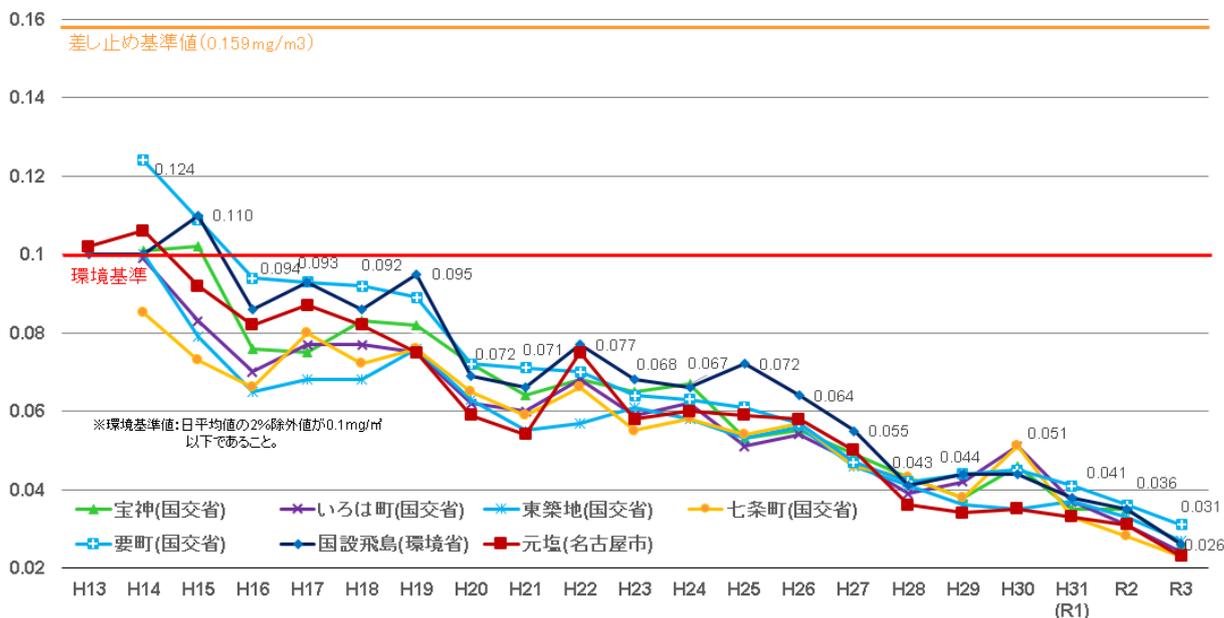
⑩国道23号 沿道大気状況



(1) NO2 濃度推移(日平均値の年間98%値)



(2) SPM 濃度推移(日平均値の年間2%除外値)

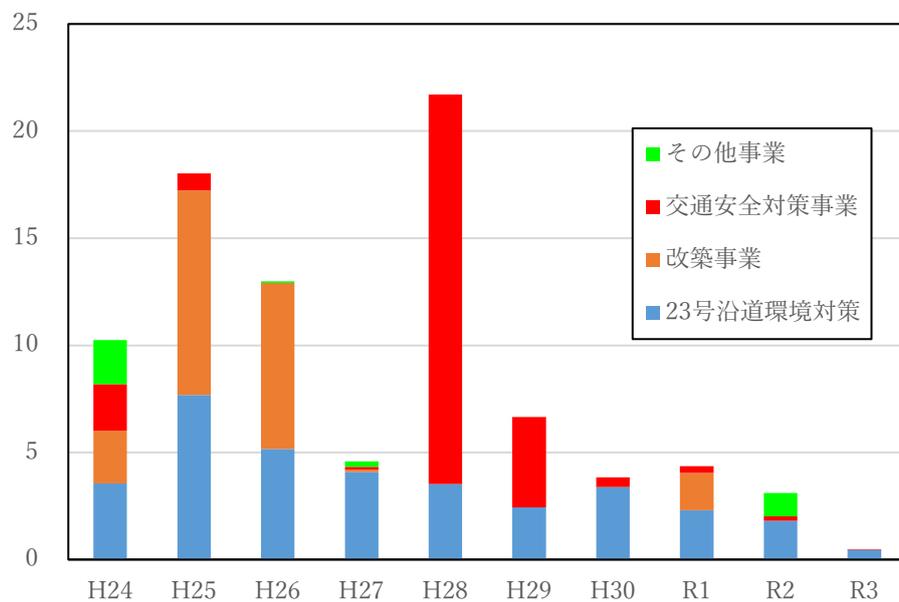


⑪用地取得状況

単位:千㎡

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
取得面積	10.2	18.0	13.0	4.6	21.7	6.7	3.8	4.4	3.1	0.5

単位:千㎡



用地取得面積の推移

7. ①歴代所長のご紹介

初代所長 中田 一幸 (昭和27.5.1 ~ 昭和30.8.15)

第2代所長 梶谷 薫 (併任) (昭和30.8.16 ~ 昭和30.8.30)

第3代所長 樽井 常忠 (昭和30.9.1 ~ 昭和31.5.9)

第4代所長 川村 武夫 (併任) (昭和31.5.10 ~ 昭和31.5.31)

第5代所長 阿部 清孝 (昭和31.6.1 ~ 昭和38.5.30)

第6代所長 川上 賢司 (昭和38.5.31 ~ 昭和40.2.28)

第7代所長 山根 達郎 (昭和40.3.1 ~ 昭和44.10.31)

第8代所長 小林 浩二 (昭和44.11.1 ~ 昭和47.4.19)

第9代所長 秋山 芳久 (昭和47.4.20 ~ 昭和51.6.15)

第10代所長 桐山 荏 (昭和51.6.16 ~ 昭和53.3.31)

第11代所長 横澤 伯達 (昭和53.4.1 ~ 昭和56.3.31)

第12代所長 白村 晋 (昭和56.4.1 ~ 昭和58.2.15)

第13代所長 廣田 文弘 (昭和58.2.16 ~ 昭和59.10.31)

第14代所長 鈴木 敏夫 (昭和59.11.1 ~ 昭和61.9.30)

第15代所長 勇 直允 (昭和61.10.1 ~ 昭和63.3.31)

第16代所長 米倉 俊治 (昭和63.4.1 ~ 平成2.3.31)

第17代所長 辻 勝成 (平成2.4.1 ~ 平成3.11.15)

第18代所長 尾関 宏一 (平成3.11.16 ~ 平成5.3.31)

第19代所長 武藤 和宏 (平成5.4.1 ~ 平成8.4.30)

第20代所長 大山 耕二 (平成8.5.1 ~ 平成10.6.30)

第21代所長 松嶋 憲昭 (平成10.7.1 ~ 平成12.3.30)

第22代所長 小林 保 (平成12.4.1 ~ 平成13.1.5)

第23代所長 川西 寛 (平成13.1.6 ~ 平成14.3.30)

第24代所長 所 輝雄 (平成14.4.1 ~ 平成16.3.31)

第25代所長 服部 亮二 (平成16.4.1 ~ 平成18.6.30)

第26代所長 長谷川 金二 (平成18.7.1 ~ 平成20.3.31)

第27代所長 高橋 敏彦 (平成20.4.1 ~ 平成23.6.30)

7. ② ここ10年の所長のことば



第28代所長 岩崎 信義 (平成23.7.1 ~ 平成25.3.31)

名古屋国道事務所設置70周年、誠にありがとうございます。これもひとえに、歴代の先輩職員、並びに現役職員の皆様のご尽力と「タスキリレー」の結晶かと思えます。私は、平成23~24年度に事務所長を務めましたが、平成24年度に事務所設置60周年の節目に立ち会うことができ、「名古屋国道事務所60年のあゆみ」を刊行させていただきました。早いもので、それから10年の歳月が経過し、大変感慨深く思っております。

在任当時は、愛知県内全域を対象として8路線、441kmにも及ぶ直轄国道の維持管理、改築等を担当する全国でも有数の国道事務所様々な事業を担当させていただきました。

当時は、インフラメンテナンスとして橋梁点検と補修・補強・耐震対策の推進、19号桜通自転車道の第二期計画策定、23号環境施設帯モデル地区の概成、愛知県内の1号で初の「道の駅・藤川宿」の開駅、153号伊勢神改良の新規事業化等に携わりました。中でも、永年の悲願であった伊勢神改良の中心杭打ち式挙行、東日本大震災を教訓とした23号豊橋バイパス料金所跡地への「緊急避難路」の設置、台風15号による19号北山トンネル坑口法面の崩落等が特に記憶に残っております。

また、広報の充実にも力を入れ、「伝えよう、知ってもらおう名古屋国道」のキャッチフレーズのもと、毎週1回の報道発表を目標に整備局の事務所の中でもトップの活動を行い、「名国」(めいこく)のプレゼンスの向上にも努めたことが懐かしい思い出となっております。

昨今は、ようやく出口は見えてきましたが、新型コロナウイルス感染症による百年に一度の世界的なパンデミック渦で不自由な生活が強いられるほか、ロシアによるウクライナ侵攻や記録的な物価高、円高等にも遭遇していますが、「名国」が良質な道路サービスの提供や安全・安心な地域社会の構築など、地域の皆様からより一層信頼される事務所を目指して、益々発展されますことと皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。



第29代所長 板倉 信一郎 (平成25.4.1 ~ 平成26.3.31)

名古屋国道事務所開設70周年おめでとうございます。

道路の管理延長が400kmを軽く超え、10車線の平面街路、自専道から大型車がすれ違えないトンネルまで擁する、日本一と言っていい規模の直轄国道事務所ということで、3度目の所長とはいえ、着任時には非常に緊張していた覚えがあります。

とにかく現場をよく見ようと思い、新設されたばかりの東三河維持出張所を契機に全出張所及び管理区間を車で回った後に、自専道区間を除き一人で土日に歩いて見て回ることにしました。伊勢神トンネルは土曜日とはいえ大型車の通行が多く壁面は擦過痕だらけで、恐々通りましたが、早期整備への思いを強く持ちました。その他、国道1号でも歩道がない区間があったり、跨道橋の主桁に衝突痕が見られるなど、徒歩で見て回ることで新たな発見もあり、また土地勘も養われたと思います。

そのようにして得られた情報は機会あるごとに事務所幹部に話をしていましたが、反応が速くて感心した次第です。180kmほど歩いたところで異動になってしまったのが心残りでしたが、伊勢神改良や伝馬橋架替が進捗しており心強い限りです。

現役の方々におかれましてはご苦労も絶えないことと思っておりますが、今後のご健闘をお祈りしています。

第30代所長 島村喜一（平成26.4.1～平成29.3.31）



70周年おめでとうございます。

わが国の命脈—中京経済圏の大動脈、道路ネットワークの根幹を担う事務所現職の皆さまの日頃のご努力に対し改めて敬意を表します。

3年の在職期間、管理の現場には実に様々あり、同僚の皆さんには日々工夫を凝らして頂きました。順不同ですが、名古屋26センチの豪雪対応、台風通過に伴う強風対策、桜通80周年記念事業、伊勢神TN工事用道路の活用、道の駅とよはしの構想づくり、基幹バス逆走事件への対応等など、個々に語り出したら紙面が足りません。どうしても受け身に立たされるが、そこを一步前に踏み出し工夫・改善。遂には地域や沿道の利用者、住民の方々に喜んで頂く、直轄管理の矜持がそこにはありました。

改築事務所のような単純さ、わかりやすさはありませんが、長寿命化、交通安全・円滑化、地域づくり、景観向上など、様々な取組を通じノウハウを蓄積されている、直轄の代表事務所の力強さを感じます。整備局の宝として継承され、中部の発展につなげて頂くことを期待してやみません。

第31代所長 山田直也（平成29.4.1～平成31.3.31）



開設70年を迎えましたことを、心よりお慶び申し上げます。

少年時代を過ごした名古屋で図らずも勤務する機会をいただきましたが、かつて自家用車や路線バスで利用していた道路が実は国道1号で熱田伝馬橋は架け替えの事業中であつたりと、懐かしさの一方で数十年の時間の流れを思い知りました。とりわけ印象的だったのは、通学路の途中にあつた広大な空地、～後に名二環となる道路用地～のことで、一般部は国道302号となっており自身が管理に携わるとは、まさに宿命を感じた次第です。

名古屋市内の多車線区間から山間部の異常気象時通行規制区間に至るまでさながら日本の縮図の様相を呈する管内にあって、在任中は国道153号伊勢神改良が始動の時期にあつたほか、国道23号側道部の移管、ボランティア・サポート・プログラムの拡大、台風や降雪への対応等、直面してきたたくさんの出来事が次々に思い浮かびます。強いて心残りを申し上げれば、道の駅とよはしの完成を見届けられなかったことでしょうか。お陰様で、名古屋国道で得た経験は現勤務地でも大いに役立っており、ひとえに、時を共にした皆様や内外からの直接間接のご助力にあってのこととこの場を借りてお礼申し上げます。

次の10年に向け、名古屋国道事務所のますますのご発展を祈念申し上げます。

第32代所長 五十川泰史（平成31.4.1～令和3.3.31）



名古屋国道事務所開設70周年、おめでとうございます。

日本のものづくり産業の中心である愛知県の人流・物流を支える直轄国道の機能の維持・向上のため日々奮闘する職員、委託業者の皆様を支えられ、2年間の務めを全うすることができ、心より感謝申し上げます。

私が在任した2年間は、1年目の途中からコロナ禍で不自由な勤務体制を強いられる中でしたが、名国の仕事は社会の機能の維持に直結するものであり、それを止めないよう、皆様に正に奮闘頂きました。また、「道の駅とよはし」がオープンしたほか、事故ゼロプランの見直しや道路安全診断、名古屋市内の自転車通行空間の整備、生活道路対策の市町村支援などの交通安全対策、伊勢神改良や熱田伝馬橋架替などの事業推進、「あいち 土木の魅力・未来プロジェクト」の立ち上げなど、様々な経験をさせて頂きました。

プライベートでは、愛知県の様々な文化や景観に触れる貴重な機会を得ることができ、ラグビーワールドカップ日本大会を契機にラグビー観戦の楽しさをお伝えしたりしたのが、いい思い出です。

名国の今後益々のご発展を祈念しております。

編 集 後 記

名古屋国道事務所は、昭和 27 年 5 月（1952 年）に開設され、今年 70 年を迎えました。

ここに記念して、これまでの歩みを記録にとどめ、今後の国土交通行政の一助になればと記念誌を発刊する運びとなりました。

なお、編集にあたっては、これまでに発刊されております記念誌にまとめられました資料、写真を活用させていただき、平成 25 年からの 10 年間を重点的に編集することとしました。

今回の編集につきましては、不十分なところも多くあると思いますが、名古屋国道事務所が 70 年にわたりこの地域に果たしてきた役割を少しでもご理解いただければ幸いに存じます。

名古屋国道事務所はこれから 80 年、100 年と地域を守る仕事を引き続き行い、地域に期待される事務所であり続けるために、地域経済と生活の安全・安心を守る道路管理と魅力的なみちづくりを進めてまいります。

最後に、この記念誌発刊にあたり、改めて先輩諸氏のご功績、ご努力に深く敬意を表すとともに、資料提供、原稿執筆にご協力をいただきました皆さま方に深く感謝の意を表する次第です。

令和 5 年 5 月 編集委員一同